

新馬診療所排水改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	図面リスト	A-20	改修後S1断面詳細図
A-02	特記仕様書その1	A-21	改修前S2断面詳細図
A-03	特記仕様書その2	A-22	改修後S2断面詳細図
A-04	特記仕様書その3		
A-05	特記仕様書その4		
A-06	特記仕様書その5		
A-07	特記仕様書その6		
A-08	特記仕様書その7		
A-09	特記仕様書その8		
A-10	特記仕様書その9		
A-11	特記仕様書その10		
A-12	付近見取り図		
A-13	配置図・仮設計画図		
A-14	工事概要・外部仕上げ表・求積図・面積表		
A-15	改修前、改修後平面図		
A-16	立面図		
A-17	改修前平面詳細図		
A-18	改修後平面詳細図・集水桝詳細図		
A-19	改修前S1断面詳細図		

[illegible]

2

続き

④

監督員事務所

・設ける

※設けない

[2.4.1]

面積規模

()㎡程度

監督職員スペースと工事監理業務の職員スペースは間仕切壁等で仕切る

監督職員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニル床シート貼り
内壁、天井	合板又は石膏ボード張り、合成樹脂化粧ペイント塗り
屋根	塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り又は鉄板張り、調合ペイント塗り

（現場事務所）

⑤

工事用水

構内既存の施設

○利用できる

(※有償・無償)

※利用できない

⑥

工事用電力

構内既存の施設

○利用できる

(※有償・無償)

※利用できない

⑦

指定仮設等

指定仮設の範囲（種類、箇所、規格、数量を明示）

○図示

・

上記に該当しない仮設については、全て任意仮設とし、請負者の創意工夫により施工すること。

施工にあたっては、施工計画書に工法・数量を明示し、監督員に提出すること。

なお、任意仮設のため、仮設工法の変更に伴う数量変更や工期変更は行わない。

土工事

1

埋戻し及び盛土

種別

・A種

・B種

・C種

・D種

(3.2.3)〔表3.2.1〕

C種の場合

(発生場所：)

(連絡先：)

(運搬：発生原因者側・本工事)

km)

2

建設発生土の処理

・構外指示の場所

(3.2.5)

受け入れ施設()

受け入れ場所での処置(・敷きならし※たい積)

搬出距離()Km

上記に示す受け入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する

・構内指示の場所

処理の場所

※図示

()

処理の方法(・敷きならし※たい積)

()

防水改修工事

3

1

共通事項

施工標識

※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

改修用ドレン（POAS、POASI、POD、PODI、POS、POSI、POX工法の場合）

※取付方法等は、*ルーフing* 類製造所の仕様による

2

降雨等に対する養生方法（とい共）

※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による

[3.1.3]

・

3

既存防水の処理

既存保護層の撤去

[3.1.4]〔3.2.3、4、6〕

・行う（範囲・図示・）

・行わない

既存防水層の撤去

・行う（範囲・図示・）

・行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装除去

・行う（・M4S・M4SI・M4C・L4X）

・行わない

4

既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等

[3.2.6]

・図示・

POX工法及びPOSI工法（機械式固定方法）の既存保護層を撤去し

防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置

※改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(a)①～③による

・

設備機器架台、配管受部、バケツ、貫通パイプ廻り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理

・監督員と協議する

・図示

5

7スファルト防水

防水層の種類（既存：屋根保護防水）

[3.3.2～5]〔表3.3.3～10〕

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ <i>ルーフing</i> 厚0.15mm以上
・P1B	・B-1 ※B-2 ・			・
・P2AI	・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法製 スラット断熱材3種(A・B・C層付)	※フラット用 70g/㎡程度
・P1BI	・BI-1 ※BI-2		・ (厚さ) ・25mm ・50mm	・

立上り部の保護

・乾式保護材

産業系*ルーフing* 類

厚さ()mm

幅()mm

(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

・コンクリート押え

・れんが押え()

・モルタル押え（屋内等）

改質7スファルト*ルーフing* シートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

・

部分粘着層付改質7スファルト*ルーフing* シートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

・

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

※水下

80mm以上

・

床タイル張り

※水下

80mm以上

・

防水層の種類（既存：屋根露出防水）

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4			
・M3D	・D-1			
・POD	※D-2			
・PODI	・DI-1		改修標準仕様書3.3.2(9)	
・M3DI	※DI-2		(種類) ・ (厚さ) ・25mm	
・M4DI				

仕上塗料

種類

・製造所の指定による

・

使用量

・製造所の指定による

・

高日射反射率防水の適用

[6]

・有

・無

脱気装置

・設ける

・設けない

改修用ドレン

・設ける

・設けない

脱気装置の種類及び設置数量

※7スファルト*ルーフing* 類製造所の指定による

・

改質7スファルト*ルーフing* シートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

・

部分粘着層付改質7スファルト*ルーフing* シートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

・

絶縁断熱工法の*ルーフing* 回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示

・

防水層の種類（屋内防水）

工法	種別	施工箇所	備考
・PIE	E-1		保護層
・P2E	※E-2		・設ける(・図示・) ・設けない

・E-1の工程3を行う部位

※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位

・

押え金物の材質及び形状

※7スファルト L-30×15×2.0mm程度

・

屋根排水溝

※図示

・

6

改質7スファルトシート防水

防水層の種類

[3.4.2～4]〔表3.4.1～3〕

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			
・M3AS	・AS-T3 ※AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) ・ (厚さ) ・	

仕上塗料

種類

・製造所の指定による

・

使用量

・製造所の指定による

・

高日射反射率防水の適用

[6]

・有

・無

脱気装置

・設ける

・設けない

改修用ドレン

・設ける

・設けない

改質7スファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

・

粘着層付改質7スファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

・

脱気装置の種類及び設置数量

※改質7スファルト製造所の指定による

・

押え金物の材質、形状及び寸法

※7スファルト L-30×15×2.0mm程度

・

防水層の種類

[3.5.2～4]〔表3.5.1～3〕

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2			
・S3S	・S-F1 ・S-F2			
・M4S	・S-M1 ・S-M2			
・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1 ・SI-F2		改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)〔b〕 (種類) ・ (厚さ) ・25mm ・50mm	
・SI-M1 ・SI-M2			改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)〔b〕 (種類) ・ (厚さ) ・25mm ・50mm	

仕上塗料

種類

・製造所の指定による

・

使用量

・製造所の指定による

・

高日射反射率防水の適用

[6]

・有

・無

脱気装置

・設ける

・設けない

改修用ドレン

・設ける

・設けない

SI-M1及びSI-M2の場合の防湿フィルム

・設置する

・設置しない

軽歩行仕様の有無

※無

・有

防水層の種類（屋内防水）

種別	施工箇所	保護層
		平場の保護フィルム塗り厚さ 立上り部の保護フィルム塗り厚さ
・S-CI		・ ※7mm以下 ・

8

塗膜防水

平場の保護フィルム塗り

工法

※改修標準仕様書6.15.6(c)(2)及び(3)に準ずる

・

下地フィルム塗り

※改修標準仕様書6.15.6(b)(1)に準ずる

・

床塗りの場合の床の目地

目地割り

・2㎡程度

最大目地間隔3mm程度

・

目地の種類

※押し目地

・

ルーフingシートの種類及び厚さ

種類

・

厚さ

・mm

※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による

絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質

※発砲ポリエチレンシート

・

固定金具の材質及び寸法形状

※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面

若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板

・

脱気装置の種類及び設置数量

種類

※*ルーフing* シートの製造所の仕様による

・

設置個数

※*ルーフing* シートの製造所の仕様による

・

接着工法の目地処理

・プレキャストコンクリート下地()

()

S-F1、SI-F1の場合のプレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り

・行う(・図示・)

()

機械的固定工法の場合の一般部の*ルーフing* シートの張付け

1章適用区分による風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍

の風圧力に対応した工法

[3.6.2?3]〔表3.6.1?2〕

工法	種別	施工箇所	仕様塗材
			種類 使用量
・POX	・X-1 ・X-2	・X-1H ・X-2H	※製造所の仕様 ※製造所の仕様
・L4X	・X-1 ・X-2	・X-1H ・X-2H	※製造所の仕様 ※製造所の仕様

高日射反射率防水の適用

[6]

・有

・無

ルンタンダム系高伸長形及び高強度形塗膜防水X-1、X-1H（絶縁工法）

の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※主材料の製造所の仕様による

・

設置戸数

※主材料の製造所の仕様による

・

工法	種別	施工箇所	各工程数及び工程の使用量	保護層
・PIY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない

シーリング改修工法の種類

[3.1.4]〔3.7.2～7〕〔表3.7.1〕

・シーリング充填工

・シーリング再充填工法

・拡幅シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

ボンドブレイカー張り

・適用する

・適用しない

エッジング材張り

・適用する

・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

シーリング材の目地寸法

※図示

・

接着性試験

[3.7.8]

・簡易接着性試験

・引張接着性試験

1級建築士 内田 要

大臣登録 第189294号

株式会社 洪江建築設計事務所

佐賀市多布施四丁目3番50号

TEL 0952-24-7211

工事名

新馬診療所排水改修工事

図面名

特記仕様書その2

縮尺

設計

計

年

月

日

佐賀県競馬組合

1級建築士登録 第 号

図面番号

A-03

3

続き

10

とい

といその他

[3.8.2～3][表3.8.1]

種別	材質	径	施工箇所	備考
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管			
	・配管用鋼管			
	・ステンレス鋼管			
軒どい	・硬質ポリ塩化ビニル管(ケー)			

ルーフドレン

[3.8.3]

種別	呼び	施工箇所	材種
・ろく屋根用 たて形	・ねじ込み式 ・ 150	・ 80 ・ 100 ・ 125	
・ろく屋根用 よこ形	・ねじ込み式 ・ 150	・ 80 ・ 100 ・ 125	
・ハルコー用	・ねじ込み式 ・差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100	・ 50 ・ 80 ・ 100	
・ハルコー 中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100		

防露材の埋め戻し放散量
※☆☆☆☆

既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
※図示

銅管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による

とい受金物
材種
・鋼製(垂鉛めっき)
※市販品(とい径100以下
※25×4.5以上(とい径100を超えるもの)
形状
・ステンレス製(SUS304)
・ 150
取付間隔
※改修標準仕様書表3.8.2による

足金物
材種
・鋼製(垂鉛めっき)
※市販品
形状
・ステンレス製(SUS304)
・ 150
取付間隔
※改修標準仕様書表3.8.2による

ルーフドレンの取付け
※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にもれを充填

電食の恐れがある場合は、監督員と協議するものとする

[3.9.2][表3.9.1]

施工箇所	種類	製品幅	最小呼称肉厚	表面処理
オープン形式	・押出し250形	※250	※1.6	※AB-1種
	・押出し300形	※300	※1.8	又は
	・押出し350形	※350	※2.0	BB-1種
	・板材折曲げ形		※2.0	
パネル形式	・板材折曲げ形		※2.0	

板材折曲げ形の付属部品の材料及びコーナー部、突当り部等の役物
・製造所の仕様による

既存笠木等の撤去
・行う(範囲・図示)
・行わない

下地補修の工法
※図示

板材折曲げ形の笠木の取付方法
※図示

棟上避雷導体システム
※無・有

笠木の固定金具の工法等
1章適用区分による風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

※金属屋根工事及び防水工事については、10年間の施工保証とし、保証書は元請業者と施工業者の連名とすること
・金属屋根工事及び防水工事については、()年間の施工保証とし、保証書は元請業者と施工業者の連名とすること

11

7mm角製笠木

12

保証

4

外壁改修工事

1

可とう性
エポキシ樹脂

2

パテ状
エポキシ樹脂

3

エポキシ樹脂モルタル

4

ボリマーセメントモルタル

5

ボリマーセメントスラリー

6

既製調合モルタル

7

外壁改修数量表

4-1

外壁改修工事
コンクリート打ち放し仕上げ

1

ひび割れ部
改修工法

9

欠損部改修工法

1級建築士 内田 要
大臣登録 第189294号
株式会社 浜江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名
図面名

新馬診療所排水改修工事
特記仕様書その3

4-2

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

1

既存モルタルの
撤去

2

ひび割れ部
改修工法

3

欠損部改修工法

4

浮き部改修工法

1

既存モルタルの
撤去

2

ひび割れ部
改修工法

3

欠損部改修工法

4

浮き部改修工法

4-3

外壁改修工事
タイル張り仕上げ

1

既存タイル張りの
撤去

2

ひび割れ部
改修工法

3

欠損部改修工法

4

浮き部改修工法

1

既存タイル張りの
撤去

2

ひび割れ部
改修工法

3

欠損部改修工法

4

浮き部改修工法

1級建築士登録 第 号

佐賀県競馬組合

図面番号
A-04

4-3

続き

・タイル部分張替え工法
張付け材料
・ポリアセトモルタル
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコン樹脂系

・タイル張替え工法
張付け用材料
・張付けモルタル（ ・現場調合材料 ・既調合モルタル ）
・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコン樹脂系

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による ・

タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験
・行う ・行わない

・モルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
・

タイル張りの工法
外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
・改良粘上げ張り
外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒らし工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
・

シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系 ・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコン系 ・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

5 目地改修工法 [4.1.4] [4.16]

6 タイルの形状、寸法等 [4.4.5]

施工箇所	種類	形状寸法mm	吸水率による区分I類II類III類	うわぐすり地ゆう無ゆう有	役物有無標準注	色	再生材の適用	耐凍害性有無	耐滑り性
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

4-4

外壁改修工事
塗り仕上げ

1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

[4.5.4] [表4.5.4～7]

工法	処理範囲	下地処理	加圧力
・サンダー工法	※ 既存仕上面全体 ・ 図示	・ 行う	-
・高圧水洗工法	※ 既存仕上面全体 ・ 図示	・ 行う	・ 30～100Mpa程度 ・ 100～250Mpa程度
・塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上面全体 ・ 図示	・ 行う	-
・水洗い工法	※ 上記処理範囲以外 の既存仕上面全体 ・ 図示	・ 行う	・ 10～30Mpa程度 ・ 10～15Mpa程度

※ 下地調整塗材（ ・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ）
・ポリアセトモルタル
・防水形仕上げ塗材主材

2 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料の揮発量※F☆☆☆☆ ・

[4.1.5] [4.5.6] [表4.5.8]

新規仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材Si	・ ・ ・ ・ ・ ・	・砂壁状 ・ゆず肌状 （ ・吹付け ・ロー塗り ） ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 （ ・吹付け ・こて塗り ） ・着色骨材砂壁状 （ ・吹付け ・こて塗り ） ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・ ・ ・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 上塗材 ・適用する ・適用しない
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 耐候性 ・耐候形3種 ・耐候形2種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・つやなし ・メリック
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう系改修塗材E ・可とう系改修塗材RE ・可とう系改修塗材CE	・ ・ ・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 耐候性 ・耐候形3種 ・耐候形2種 ・耐候形1種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・つやなし ・メリック

3 マスク塗材塗り [4.6.2] [表4.6.1]

4 外壁用塗膜防水材塗り [4.1.5] [4.7.2] [表4.7.1]

3 マスク塗材塗り

種類 ・ A種 ・ B種 [4.6.2] [表4.6.1]

4 外壁用塗膜防水材塗り

外壁用塗膜防水塗り [4.1.5] [4.7.2] [表4.7.1]

仕上げ形状 ・
工法 ・

仕上塗料の耐候性 ・ JIS A 6909の耐候性I種相当
・

模様材の種類 ・

仕上げ塗料の種類 ・

下地挙動緩衝材の適用 ・適用する ・適用しない

5 建具改修工事

1 改修工法 [5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去方法	適用箇所
・アルミ製建具	・	・	・建具表による ・
・樹脂製建具	-	・	・建具表による ・
・鋼製建具	・ 外部	・	・建具表による ・
・	・ 内部	・	・建具表による ・
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による ・
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による ・
・木製建具	・	・	・建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ※図示 ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ・

建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修による

2 防火戸 [5.1.4]

防火戸の指定
・適用する 適用箇所（ ・建具表による ・ ）
・適用しない

防火戸の自動閉鎖機構及びヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる（ ・建具表による ・ ）
・連動させない

3 見本の製作等 [5.1.5]

建具見本の製作 ・する ・しない
仮組の実施 ・する ・しない

4 防犯建物部品 [5.1.7]

・適用する（ ）
適用箇所（ ・建具表による ・ ）
・適用しない

5 アルミ製建具 [5.2.2～5] [表5.2.1、2]

性能等級
・外部に面する建具
・A種（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・B種（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・C種（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・上記によらない場合
耐風圧性の等級（ ）
気密性の等級（ ）
水密性の等級（ ）
（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
防音ドア、防音サッシ
・適用する 遮音性の等級（ ）
（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
断熱ドア、断熱サッシ

G

・適用する 断熱性の等級（ ）
（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
耐震ドア
・適用する 面内変形追随性の等級（ ）
（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
枠の見込み寸法 ・建具表による ・
表面処理の種類
外部に面する建具
種別 ・BB-1種 ・BB-2種
着色 ・標準色（ ） ・特注色（ ）
屋内に使用する建具
種別 ・BC-1種 ・BC-2種
着色 ・標準色（ ） ・特注色（ ）
ステンレス鋼板 ・ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・
ステンレス製くつずりの仕上げ ・ HL ・
結露水の処理方法 ・図示 ・
水切り板、ぜん板 ・図示 ・
網戸等
種類 材種 線径 網目
・防虫網 ※合成樹脂製
・ガラス繊維入り合成樹脂製
・ステンレス（SUS316）製
・防鳥網 ステンレス（SUS304）線材 1.5mm 網目寸法 15mm

7 樹脂製建具

性能等級 [5.3.2～5] [表5.3.1～2]

・外部に面する建具
・A種（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・B種（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・C種（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・上記によらない場合
耐風圧性の等級（ ）
気密性の等級（ ）
水密性の等級（ ）
（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
防音ドア、防音サッシ
・適用する 遮音性の等級（ ・T-1 ・T-2 ）
（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
断熱ドア、断熱サッシ

G

・適用する 断熱性の等級（ ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・ ）
（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・
ガラス ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・建具表による
ステンレス製くつずりの仕上げ ・ HL ・
枠の見込み寸法 ・建具表による ・
表面色 ※標準色 ・特注色
水切り板、ぜん板 ※図示 ・
性能等級 [5.2.2] [5.4.2～5] [表5.4.2]
簡易気密型ドアセット
・適用する（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
・S-4（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・S-5（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・S-6（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・
防音ドア、防音サッシ
・適用する 遮音性の等級（ ）
（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
断熱ドア、断熱サッシ

G

・適用する 断熱性の等級（ ）
（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
耐震ドア
・適用する 面内変形追随性の等級（ ）
（ 建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
ステンレス鋼板 ・ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・
点検口の類のくつずりの材料 ・
鋼板の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.2による
mm
ステンレス製くつずりの仕上げ ・ HL ・
標準型鋼製建具の形状及び寸法
・建具表による

8 鋼製建具

1 級建築士 内田 要
大臣登録 第 189294号
株式会社 浜江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名
図面名

新馬診療所排水改修工事
特記仕様書その4

縮尺
設計
年 月 日

佐賀県競馬組合
1 級建築士登録 第 号

図面番号
A-05

5 続 き	8	鋼製軽量建具	性能等級 簡易気密型ドアセット（気密性の等級A-3） ・適用する （ 建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・適用しない 防音ドア、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 （ ） （ 建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・適用しない 断熱ドア、断熱サッシ <table><tr><td>G</td></tr></table> ・適用する 遮熱性の等級 （ ） （ 建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・適用しない 耐震ドア ・適用する 面内変形追従性の等級 （ ） （ 建具符号 ・ 建具表による ・ ） ・適用しない 銅板 ※ 垂鉛めっき銅板 ・ ビニル被覆銅板 ・ カタ銅板 ・ ステンル銅板 ステンル銅板 ・ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンル製くつずりの仕上げ ・ HL ・ 銅板の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.5.1による ・ 片開き、親子開き及び片面開き戸の1枚の戸の有効開口幅が990mm又は2,400mmを超える場合 ・ 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 銅板 ・ ステンル銅板 ・ アルミニウム合金の押出形材 標準型钢製軽量建具の形状及び寸法 ・ 建具表による ・	G	10	木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.1～4] ※ B種 ・ A種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ ・ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2) (イ) (a)による ・ 表面材の合板の種類 <table><tr><th>合板の種類</th><th>規格</th><th>備考</th></tr><tr><td>※ 普通合板</td><td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り （ ※ ファン程度 ・ ） 不透明塗料塗り （ ※ しな程度 ・ ） 板面の品質 （ ） 接着の程度 （ ・ 1級 ・ 2級 ）</td><td></td></tr><tr><td>・ 天然木</td><td>樹名 （ ）</td><td></td></tr><tr><td>化粧合板</td><td>接着の程度 （ ・ 1級 ・ 2級 ）</td><td></td></tr><tr><td>・ 特殊加工</td><td>化粧加工の方法 （ ・ オパールレイ ・ プリント ・ 塗装 ）</td><td></td></tr><tr><td>化粧合板</td><td>表面性能 （ ） タイプ 接着の程度 （ ・ 1級 ・ 2級 ）</td><td></td></tr></table> 表面板の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.7.6による ・ ・ かまち戸 かまち樹種 （ ） 鏡板樹種 （ ） 見込み寸法 ※ 36mm ・ 建具表による ・ ・ ふすま 張りの種別 （ ・ I型 ・ II型 ） 上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 ・ 押入等の裏側は雲花紙程度 ・ 塗り縁 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンリキヤ塗装） 見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による ・ ・ 戸ぶすま 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・ ・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・ 枠、くつずりの材料 ・ 建具表による ・ マスターキー ※ 製作する （ ※ 新規 ・ 既存にあわせる ） [5.8.2～4] その他の鍵の製作本数 ※ 各室3本1組（室名札付き） ・ ※ シリンダー・箱錠 ※ レバーハンドル 材質 ※ アルミニウム合金 ・ ステンル ・ 黄銅 座金 ※ 丸座 ・ 長座 ・ 握り玉 材質 ※ ステンル ・ 耐じん性能 ・ ・ 本締り錠 （品質、性能） 建築材料等品質性能表による ・ 耐じん性能 ・ ・ 空錠 ※ レバーハンドル 材質 ※ アルミニウム合金 ・ ステンル ・ 黄銅 座金 ※ 丸座 ・ 長座 ・ 握り玉 材質 ※ ステンル ・ グレモン錠 レバーハンドルの材質 ※ 垂鉛合金 ・ ステンル 製造所 ※ 図示 ・ ビンゴットベンジ カバー部の材質 ※ 垂鉛合金 ・ ステンル ・ 軸吊りベンジ 自閉装置付き ・ 適用する ・ 適用しない ・ フロアベンジ ・ Grade1 ※ Grade2 カバー部の材質 ※ ステンル ・ ベンジ・クローザー（丁番型） 材質 ・ 銅（焼付け塗装） ディレイドアクション機能 ・ 有り ・ 無し	合板の種類	規格	備考	※ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （ ※ ファン程度 ・ ） 不透明塗料塗り （ ※ しな程度 ・ ） 板面の品質 （ ） 接着の程度 （ ・ 1級 ・ 2級 ）		・ 天然木	樹名 （ ）		化粧合板	接着の程度 （ ・ 1級 ・ 2級 ）		・ 特殊加工	化粧加工の方法 （ ・ オパールレイ ・ プリント ・ 塗装 ）		化粧合板	表面性能 （ ） タイプ 接着の程度 （ ・ 1級 ・ 2級 ）		12	自動ドア 開閉装置	・ ベンジ・クローザー（丁番型） 材質 ・ 銅（焼付け塗装） ディレイドアクション機能 ・ 有り ・ 無し ・ ドアクローザー ・ Grade1 ※ Grade2 材質 ※ アルミニウム合金 ディレイドアクション機能 ・ 有り ・ 無し ・ 押棒、押板 材質 ・ ステンル ・ 黄銅 ・ 合成樹脂 ・ アームストップバー 材質 ・ 銅（クロムめっき） ※ ステンル ・ クレセント 材質 ・ 建具製造所の仕様による ・ 排煙バルレーター （ ※ 埋込 ・ 露出 ） ・ ハンガーレール 握り玉、レバーハンドル、押出類、クレセントの取付け位置 ・ 建具表による ・ 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※ 改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による ・ 金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5.8.2による 樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ・ 改修標準仕様書表5.8.5による ・ 引き戸用駆動装置 [5.9.2?3] 性能値 ※ 改修標準仕様書表5.9.1による （ 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ） ・ 以下による 種類、開閉方式 （ ） 耐電圧 （ ） 温度上昇 （ ） 耐久性（サケル） （ ） 防錆 （ ） 電源 （ ） ・ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表5.9.2による （ 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ） ・ 以下による 耐電圧 （ ） 温度上昇 （ ） 耐久性（サケル） （ ） 防錆 （ ） 電源 （ ） ・ 引き戸用検出装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表5.9.3による （ 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない ） ・ 以下による 放射無線周波数電磁界耐性 （ ） 耐電圧 （ ） 防錆 （ ） 防滴 （ ） 電源 （ ） 戸の開閉方式 ※ 建具表による 引き戸用検出装置の種類 ※ 光線（反射）センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ 押しボタンスイッチ ・ タッチスイッチ （ ・ 無線式 ・ 光線式 ） ・ 車椅子使用者用便房スイッチ （ ・ 大形押しボタン ・ 非接触 ） 凍結防止措置 ※ 行わない ・ 行う 駆動力 ※ 電気式または電動油圧式 ・ （ ） 電源 ※ 単相100V（過電流保護装置付） ・ （ ） 補助センサ ※ 安全光線スイッチ1組 ・ （ ） 各開閉装置毎に補助センサを設ける	13	自閉式上吊り 引戸装置	性能 ※ 改修標準仕様書 表5.10.1 による [5.10.3][表5.10.1] ・ 以下による 手動開き力 （ ） 手動閉じ力 （ ） 閉じ速度の調整 （ ） 制動区間 （ ） 開閉繰返し （ ） 耐衝撃性 （ ） [5.11.2～4][表5.11.1] <table><tr><th>シャッターの種類</th><th>耐風圧強度</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 管理用シャッター</td><td>（ ） Pa</td><td>※ 障害物感知装置（自動閉鎖型）</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火シャッター</td><td>（ ） Pa</td><td>※ 危害防止機構</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火シャッター</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防煙シャッター</td><td></td><td></td></tr></table> 開閉機能による種類 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 電動シャッターにおける二重ファン、急降下制御（停止）装置等の設置箇所 ※ 図示による 電動式にシャッターにおける障害物感知装置の設置箇所 ※ 図示による 屋内用防火シャッターもしくは防煙シャッターにおける危害防止機構 適用 ※ 改修標準仕様書5.11.2(4) (イ) (a)かつ(c) ・ 改修標準仕様書5.11.2(4) (イ) (b)かつ(c) 設置箇所 ※ 図示による 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用銅板 銅板の種類 ・ JIS G 3302（溶融垂鉛めっき銅板及び銅帯） ・ JIS G 3312（塗装溶融垂鉛めっき銅板及び銅帯） めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ 電動式の場合の電源 ※ 三相200V 0.75kw以下（過電流保護装置付） ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座金及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイングガラス類のふたの材質 ・ ステンル銅板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 開閉方式 [5.12.2～4][表5.12.1] ※ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用） シャッターケース ・ 設ける ・ 設けない 耐風圧強度 （ ） Pa スラットの材質 ・ JIS G 3312（塗装溶融垂鉛めっき銅板及び銅帯） めっき付着量 （ ※ Z06又はF06 ・ ） ・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム垂鉛合金めっき銅板及び銅帯） めっき付着量 （ ※ AZ90 ・ ） スラットの形状 ・ インターロック形 ・ オパールラッキング形 電動式の場合の危害防止機構 ※ 有（障害物感知装置自動閉鎖型） 電動式の場合の電源 ※ 単相100V（過電流保護装置付） ・ [5.13.2?4] <table><tr><th>セクション材料による区分</th><th>耐風圧区分</th><th>開閉方式による区分</th><th>収納形式による区分</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ</td><td>・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50</td><td>※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</td><td>・ スタンダード形 ・ ロケット形 ・ ハリリト形 ・ パーティカル形</td><td>※ 溶融垂鉛めっき銅板 ・ ステンル銅板</td></tr></table> 電動式シャッターにおける障害物感知装置の設置箇所 ※ 図示による	シャッターの種類	耐風圧強度	備考	・ 管理用シャッター	（ ） Pa	※ 障害物感知装置（自動閉鎖型）	・ 外壁用防火シャッター	（ ） Pa	※ 危害防止機構	・ 屋内用防火シャッター			・ 防煙シャッター			セクション材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ロケット形 ・ ハリリト形 ・ パーティカル形	※ 溶融垂鉛めっき銅板 ・ ステンル銅板	14	重量シャッター		15	軽量シャッター	16	オーバヘッドドア
	G																																																														
	合板の種類	規格	備考																																																												
※ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （ ※ ファン程度 ・ ） 不透明塗料塗り （ ※ しな程度 ・ ） 板面の品質 （ ） 接着の程度 （ ・ 1級 ・ 2級 ）																																																														
・ 天然木	樹名 （ ）																																																														
化粧合板	接着の程度 （ ・ 1級 ・ 2級 ）																																																														
・ 特殊加工	化粧加工の方法 （ ・ オパールレイ ・ プリント ・ 塗装 ）																																																														
化粧合板	表面性能 （ ） タイプ 接着の程度 （ ・ 1級 ・ 2級 ）																																																														
シャッターの種類	耐風圧強度	備考																																																													
・ 管理用シャッター	（ ） Pa	※ 障害物感知装置（自動閉鎖型）																																																													
・ 外壁用防火シャッター	（ ） Pa	※ 危害防止機構																																																													
・ 屋内用防火シャッター																																																															
・ 防煙シャッター																																																															
セクション材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																											
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ロケット形 ・ ハリリト形 ・ パーティカル形	※ 溶融垂鉛めっき銅板 ・ ステンル銅板																																																											

1級建築士 内田 要
大臣登録 第189294号
株式会社 洪江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名
新馬診療所排水改修工事
図面名
特記仕様書その5

縮尺
設計
計

年 月 日

佐賀県競馬組合
1級建築士登録 第 号

図面番号
A-06

5

17

ガラス

・フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
※ 建具表による

・型板ガラスの厚さによる種類 ※ 建具表による

・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※ 建具表による

・合わせガラス
材料の板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類
※ 建具表による
形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類及び材料板ガラス種類による名称 ※ 建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス

板ガラスの種類	性能	色調
・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・熱線吸収線入磨き板ガラス ・熱線吸収網入型板ガラス	・Ⅰ種 ・Ⅱ種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ

・複層ガラス

材料板ガラスの種類 及び厚さによる種類	断熱性による区分	日射取得性、日射熱 遮蔽性による区分	乾燥気体 の区分
※ 建具表による	・ T1 ・ T4 ・ T2 ・ T5 ・ T3 ・ T6	・ G ・ S	・ 空気 ・ アルゴン

・熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類 及び厚さによる種類	日射熱遮蔽性 による区分	耐久性による区分
※ 建具表による	・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種	・A種 ・B種

反射被膜面 ※ 内面 ・外面
映像調整 ・行わない ・行う

・耐熱板ガラス

材料板ガラスの種類	厚さ（mm）	バリエーション
・低膨張防火ガラス ・耐熱強化ガラス ・耐熱結晶化ガラス ・	・	・

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	※ シーリング材（SR-1） ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材（SR-1） ・	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示
ステンレス製	※ シーリング材（SR-1） ・	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示
樹脂製	※ シーリング材（SR-1） ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示

名称	記号	その他性能等
	内貼り用 / 外貼り用	
・日射調整フィルム	・SC-1 ・SC-2	
・低放射フィルム	・LE	
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・G1-1 ・G1-2	
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-2	
・ガラス貫通防止フィルム	・DF	

品質 JIS A 5759による

形式 ・30本入 （ ）個 ・60本入 （ ）個
・120本入 （ ）個 ・ 本入 （ ）個

鋼製市販品とし、監督職員の承諾による

6

1

改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面から両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・ 図示

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま ・ 図示

ビニル床シート等の除去
※ 仕上材のみ（接着剤とも）
・ 下地も剥とも （ ・ 図示 ・ 除去範囲すべて ）

合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法

コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるセメントモルタル及びセメント樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※ 改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補修 ・ 行う ・ 行わない
・ 図示

材料の熱伝導率の放散量 [6.5.2]
※ F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(イ)(b)
・

2

既存床の撤去及び下地補修

3

既存壁の撤去及び下地補修

4

施工一般

5

材料

6

産地等

7

製材

8

造作用集成材

9

造作用単板積層材

10

直行集成材

11

合板等

12

接合具等

13

接着剤

14

防腐・防蟻・防虫処理

15

その他

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法 mm	見付け材 面数	見付け材 面の品質	間伐材等の 適用
					※1等 ・2等	・

「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法 mm	化粧薄板 の厚（mm）	見付け材 面数	見付け材 面の品質	間伐材等の 適用
		・化粧薄板 ・芯材				※1等 ・2等	・

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 mm	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の 適用
				※15% 以下	・

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 mm	化粧薄板 の厚（mm）	見付け材 面の品質	含水率	間伐材等の 適用
	・化粧薄板 ・芯材				※15% 以下	・

JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法 mm	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の 適用
			・有り ・天然木加工 ・塗装加工 ・無し（等級： ）	・適用する ・適用しない	・

JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 mm	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の 適用
			・有り ・天然木加工 ・塗装加工 ・無し（ ）	・適用する ・適用しない	※14% 以下	・

JAS 3079に基づく直交集成材（CLT） [6.5.2]

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能	樹種	寸法	間伐材等の 適用
							・

「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]

施工箇所	品名	厚さ mm	単板の 樹種	接着の 程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の 適用
		※5.5 ・	・しな ・ラワン	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用 する ・適用 しない	・

「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ mm	等級	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の 品質	防虫処理	強度 等級	間伐材等の 適用
	※12 ・	※2級 以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D 以上	・適用 する ・適用 しない	・	・

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	品名	厚さ mm	単板の 樹種	接着の 程度	防虫処理	間伐材等の 適用
				・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・

「合板の日本農林規格」による天然不化粧合板

施工箇所	厚さ mm	化粧板に使用 する単板の樹種	接着の 程度	防虫処理	間伐材等の 適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	・

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	品名	厚さ mm	接着の 程度	単板の 樹種	化粧加工 の方法	防虫処理
						・適用する ・適用しない

内部の造作に使用する

「パーティクルボード」

施工箇所	厚さ mm	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性 による区分
	※15 ・		※1347 ・	※P又はM ・	

JAS 0360Iに基づく構造用パーティクル

施工箇所	品名	寸法（mm）

MDF

施工箇所	厚さ mm	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤に よる区分	難燃性に よる区分	間伐材等 の適用

造作材化粧面の釘打ち [6.5.3] [表6.5.5～7]
※隠し釘打ち ・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し

諸金物の形状、寸法及び材質
※改修標準仕様書6.5.3(2) (ア)による
・以下による

種類	形状	寸法	材質

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤は除く）が添付されていないものとする。
熱伝導率の放散量 ※F☆☆☆☆ ・

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示 ・

防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材 [6.5.5]
適用部位 ：（ ）

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・ K2 ・ K3 ・ K4

薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法	薬剤の種類
	※製造所の仕様による	※JIS K 1571に 適合又は同等品
		・

薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位 ：（ ）

合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位 ：（ ）

防虫処理 ・ 行う （ ）
・ 図示 ・ 行わない

17

鍵箱

18

ガラス用フィルム

19

鍵箱

1級建築士 内田 要
大臣登録 第189294号
株式会社 洪江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名
図面番号

新馬診療所排水改修工事
特記仕様書その6

縮尺
設計
計

年 月 日

佐賀県競馬組合
1級建築士登録 第 号

図面番号
A-07

6

続き

33

セメント系
材料塗り

34

フリーフロー

種類

セメント系

6. 17. 2～3]

標準塗厚 (mm)

20. 2. 2)

施工箇所	寸法 mm	高さ mm	所定荷重 N	表面仕上げ材	備考
	450角以上 600角以下	100 120	3000 5000	帯電防止床材 タイルペイント	

適用地震時水平力

1階及び地階
中間階 (階)
最上階 (階)

※ 0. 6G以上
※ 0. 6G以上
※ 1. 0G以上

帯電防止床材

設置方法
(パネル一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする)

寸法精度

※ 標準仕様書20. 2. 2 (2) (a) ～ (c) による

表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。

床材の材質

※ 7系合金製の鋼製又は複合材等

フロー及びびり

※ 製造所の仕様による

図示

配線用取り出し材

フリーフロー全体面積に対する設置割合
※ 50%以上
※ 20～30%

配線取り出し開口
材1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上

図示

空調用吹き出し (吸い込み) 材

なし
あり (形式、施工箇所 図示)

(性能・試験方法)

ローリングロード性能
※ 適用しない

ローリングロード試験
所定荷重1, 000N (5, 000Nの積載荷重は1, 000N以上 (任意)) による
繰り返し試験後、残留変形3. 0mm以下であること
(パネル面に目視による著しいわだち及び損傷がないこと。かつ、
使用上有害ながたつきがないこと)

2重床用複合フロート用開口

適用室 ()
開口の数 フロア面積8㎡につき1ヶ所かつ予備開口を14㎡につき1ヶ所
開口の大きさ
コンクリート (電源) : 2P15A接地極付×2
情報用コンセント (電話) : 8極8芯×1
の付いたフロートが納まる大きさ
取付方法 フリーフロー製造所の仕様とする

20. 2. 3)

構造形式	構成基材の種類	総厚さ mm	材表面仕上げ	防火性能
スリット式 (内蔵)			樹脂樹脂焼付 樹脂樹脂焼付	不燃
スリット式 (露出)			壁紙張り	
材式				
スリット材式				

中心周波数500Hzの音についての透過損失 (dB)

36未満
36以上

材内に取付ける建具

あり (図示)

なし

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

ガラス留め材

※ ガラス
シーリング

材材料の熱伝導率

※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

36

移動間仕切

(20. 2. 4)

構造形式	操作方法	圧縮装置の 操作方法	総厚さ mm	表面仕上材 材質	材表面 仕上げ	遮音性 db/500Hz
平行方向 移動式 二方向 移動式	手動式 電動式 部分電動式	ポンプ式 ハンドル式	60程度 100程度	鋼板	焼付 塗装 壁紙張り	36未満 36以上

材表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による

遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする

材の取付け下地の補強
※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
図示

移動間仕切の壁面当たり材
※ 適用する (製造所の仕様による)

材材料の熱伝導率

材をラネに取り付ける部品
※ ラネに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの

材のラネ、ラネ
材重量の5倍の荷重を材1枚に使用するラネ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障がないものとする

20. 2. 5)

表面材の種類	色柄	脚部 形状	ドレッシング、形状
樹脂樹脂系 化粧板 樹脂樹脂系 化粧板	無地 柄物	幅木タイプ R	標準 R 7系合金製の鋼製 ステンレス製 表面材と同材

吊り方式

※ 中心吊、戸当たり付

材材料の熱伝導率

※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

(11. 2. 2) (19. 2. 2)

施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内	塩化ビニル製 セラムタイル レジンコンクリート製	※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300	7. 0 ※ 17程度 30
屋外	セラムタイル レジンコンクリート製 -	※ 300×300 ※ 300×300 -	※ 17程度 30 -

視覚障害者用ブロック等の突起の形状およびその配列は JIS T 9251 による

樹脂系点字紙 (タイルペイント用)
寸法 300角
色 黄色

樹脂系点字紙の留付は、両面からの挟込み式または接着式

(20. 2. 6)

形式	径	材料	仕上
1段	35φ	※ 45φ	※ CL
※ 2段	※ 35φ		

既製手すり (樹脂製)
形式 径 プラケット 備考
0段 (1段) ※ 40φ 7系合金製 (心材共) 指づめ
※ 0段 (2段) ※ 34φ 防止材等

点字表示板 () 箇所
JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による
※ 樹脂製 大きさ 120×150程度 厚み 0. 1程度
塩化ビニル製 大きさ 100×125程度 厚み 0. 1程度

(20. 2. 7)

材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
※ ステンレス製 (SUS304) 樹脂製ガラス入り	※ 約35 -	接着工法 埋込み工法	※ ビニル製 ステンレス製 なし

41

床目地棒

(20. 2. 8)

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ ステンレス製 口型 (幅40程度 ア1. 5)
ステンレス製 6×12
黄銅製 6×12

42

ブラインド

(20. 2. 14)

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅 mm	ボックス・レールの材種	寸法・ 取付箇所
横型	手動 電動	※ 7式 コード式 操作棒式	※ 7系合金製 合金製 クロススラット	※ 25 -	※ 鋼製 -	図示
縦型	手動 電動	※ 2本操作 コード式 1本操作 コード式	※ 7系スラット クロススラット	※ 80 100	※ 7系合金製 -	図示

7系スラット 焼付け塗装仕上げ

クロススラット 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工

7系スラット繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合
Gとする

43

カーテン

(20. 2. 16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、 品質、 特殊加工等	取付 箇所
シングル ダブル	片引き 引分け 電動	ボックスひだ 箱ひだ、つまひだ ブレンヒだ、片ひだ		図示
シングル ダブル	片引き 引分け 電動	フラスヒだ 箱ひだ、つまひだ ブレンヒだ、片ひだ		図示

使用される繊維のうち、7系繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する製品については Gとする

44

カーテンレール

(20. 2. 16)

再使用する 新設する

材種
※ 7系合金製及び7系合金の押出し成型材
ステンレス製

カーテンの形式
シングル ダブル
片引き 引分け

レール及びブラケットの強さによる区分
※ 10-90

仕上げ
7系
-

形状
角形
-

フック (ひるかん)
鋼製 樹脂製

再使用する 新設する

溝型×深さ (mm)
90×150
150×80
120×80
120×150
図示

材質
集成材 (仕上げ :)
図示
※ 7系合金製 押出し型材 (市販品)
種別 (標準仕様書表14. 2. 1)
BC-1 BC-2
色合い
標準色 ()
特注色 ()
鋼製 (仕上げ :)

材質
※ 7系合金押出型材差込型
※ シルバー 焼付

施工箇所
※ 図示

材質
※ 7系合金押出型材
塩化ビニル製

施工箇所
※ 仕上表による

45

ブラインドボックス
及びカーテンフック

(20. 2. 16)

再使用する 新設する

溝型×深さ (mm)
90×150
150×80
120×80
120×150
図示

材質
集成材 (仕上げ :)
図示
※ 7系合金製 押出し型材 (市販品)
種別 (標準仕様書表14. 2. 1)
BC-1 BC-2
色合い
標準色 ()
特注色 ()
鋼製 (仕上げ :)

材質
※ 7系合金押出型材差込型
※ シルバー 焼付

施工箇所
※ 図示

材質
※ 7系合金押出型材
塩化ビニル製

施工箇所
※ 仕上表による

46

コーナーポスト
(壁ポスト出隅
保護金物)

(20. 2. 16)

再使用する 新設する

溝型×深さ (mm)
90×150
150×80
120×80
120×150
図示

材質
集成材 (仕上げ :)
図示
※ 7系合金製 押出し型材 (市販品)
種別 (標準仕様書表14. 2. 1)
BC-1 BC-2
色合い
標準色 ()
特注色 ()
鋼製 (仕上げ :)

材質
※ 7系合金押出型材差込型
※ シルバー 焼付

施工箇所
※ 図示

材質
※ 7系合金押出型材
塩化ビニル製

施工箇所
※ 仕上表による

47

天井点検口

(20. 2. 16)

再使用する 新設する

材種
※ 7系合金製
ステンレス製

カーテンの形式
シングル ダブル
片引き 引分け

レール及びブラケットの強さによる区分
※ 10-90

仕上げ
7系
-

形状
角形
-

フック (ひるかん)
鋼製 樹脂製

再使用する 新設する

溝型×深さ (mm)
90×150
150×80
120×80
120×150
図示

材質
集成材 (仕上げ :)
図示
※ 7系合金製 押出し型材 (市販品)
種別 (標準仕様書表14. 2. 1)
BC-1 BC-2
色合い
標準色 ()
特注色 ()
鋼製 (仕上げ :)

材質
※ 7系合金押出型材差込型
※ シルバー 焼付

施工箇所
※ 図示

材質
※ 7系合金押出型材
塩化ビニル製

施工箇所
※ 仕上表による

48

床点検口

(20. 2. 16)

再使用する 新設する

材種
※ 7系合金製
ステンレス製

カーテンの形式
シングル ダブル
片引き 引分け

レール及びブラケットの強さによる区分
※ 10-90

仕上げ
7系
-

形状
角形
-

フック (ひるかん)
鋼製 樹脂製

再使用する 新設する

溝型×深さ (mm)
90×150
150×80
120×80
120×150
図示

材質
集成材 (仕上げ :)
図示
※ 7系合金製 押出し型材 (市販品)
種別 (標準仕様書表14. 2. 1)
BC-1 BC-2
色合い
標準色 ()
特注色 ()
鋼製 (仕上げ :)

材質
※ 7系合金押出型材差込型
※ シルバー 焼付

施工箇所
※ 図示

材質
※ 7系合金押出型材
塩化ビニル製

施工箇所
※ 仕上表による

49

仕上げ材仕上げ

(20. 2. 16)

再使用する 新設する

材種
※ 7系合金製
ステンレス製

カーテンの形式
シングル ダブル
片引き 引分け

レール及びブラケットの強さによる区分
※ 10-90

仕上げ
7系
-

形状
角形
-

フック (ひるかん)
鋼製 樹脂製

再使用する 新設する

溝型×深さ (mm)
90×150
150×80
120×80
120×150
図示

材質
集成材 (仕上げ :)
図示
※ 7系合金製 押出し型材 (市販品)
種別 (標準仕様書表14. 2. 1)
BC-1 BC-2
色合い
標準色 ()
特注色 ()
鋼製 (仕上げ :)

材質
※ 7系合金押出型材差込型
※ シルバー 焼付

施工箇所
※ 図示

材質
※ 7系合金押出型材
塩化ビニル製

施工箇所
※ 仕上表による

35

可動間仕切

(20. 2. 3)

構造形式	構成基材の種類	総厚さ mm	材表面仕上げ	防火性能
スリット式 (内蔵)			樹脂樹脂焼付 樹脂樹脂焼付	不燃
スリット式 (露出)			壁紙張り	
材式				
スリット材式				

中心周波数500Hzの音についての透過損失 (dB)

36未満
36以上

材内に取付ける建具

あり (図示)

なし

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

ガラス留め材

※ ガラス
シーリング

材材料の熱伝導率

※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

37

トイレ

(20. 2. 5)

表面材の種類	色柄	脚部 形状	ドレッシング、形状
樹脂樹脂系 化粧板 樹脂樹脂系 化粧板	無地 柄物	幅木タイプ R	標準 R 7系合金製の鋼製 ステンレス製 表面材と同材

吊り方式

※ 中心吊、戸当たり付

材材料の熱伝導率

※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

38

視覚障害者用
床材

(11. 2. 2) (19. 2. 2)

施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内	塩化ビニル製 セラムタイル レジンコンクリート製	※ 300×300 ※ 300×300 ※ 300×300	7. 0 ※ 17程度 30
屋外	セラムタイル レジンコンクリート製 -	※ 300×300 ※ 300×300 -	※ 17程度 30 -

視覚障害者用ブロック等の突起の形状およびその配列は JIS T 9251 による

樹脂系点字紙 (タイルペイント用)
寸法 300角
色 黄色

樹脂系点字紙の留付は、両面からの挟込み式または接着式

(20. 2. 6)

形式	径	材料	仕上
1段	35φ	※ 45φ	※ CL
※ 2段	※ 35φ		

既製手すり (樹脂製)
形式 径 プラケット 備考
0段 (1段) ※ 40φ 7系合金製 (心材共) 指づめ
※ 0段 (2段) ※ 34φ 防止材等

点字表示板 () 箇所
JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による
※ 樹脂製 大きさ 120×150程度 厚み 0. 1程度
塩化ビニル製 大きさ 100×125程度 厚み 0. 1程度

(20. 2. 7)

材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
※ ステンレス製 (SUS304) 樹脂製ガラス入り	※ 約35 -	接着工法 埋込み工法	※ ビニル製 ステンレス製 なし

39

手すり

(20. 2. 6)

形式	径	材料	仕上
1段	35φ	※ 45φ	※ CL
※ 2段	※ 35φ		

既製手すり (樹脂製)
形式 径 プラケット 備考
0段 (1段) ※ 40φ 7系合金製 (心材共) 指づめ
※ 0段 (2段) ※ 34φ 防止材等

点字表示板 () 箇所
JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による
※ 樹脂製 大きさ 120×150程度 厚み 0. 1程度
塩化ビニル製 大きさ 100×125程度 厚み 0. 1程度

(20. 2. 7)

材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
※ ステンレス製 (SUS304) 樹脂製ガラス入り	※ 約35 -	接着工法 埋込み工法	※ ビニル製 ステンレス製 なし

40

階段滑り止め

(20. 2. 7)

材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
※ ステンレス製 (SUS304) 樹脂製ガラス入り	※ 約35 -	接着工法 埋込み工法	※ ビニル製 ステンレス製 なし

1級建築士 内田 要
大臣登録 第189294号
株式会社 洪江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名
新馬診療所排水改修工事
図面名
特記仕様書その8

縮尺
設計
計

年 月 日

佐賀県競馬組合
1級建築士登録 第 号

図面番号
A-09

7

塗装改修工事

1

材料

2

下地調整

3

錆止め塗料塗り

屋内で使用する塗料の揮発性有機化合物（VOC）の放出量
※F☆☆☆☆

防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・ 次の箇所を除き防火材料とする
（ 箇所： ）

塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲
※ 劣化部は除去し、活膜部分は残す ※ 図示

下地調整・素地ごしらえ

下地面の種類	下地調整/素地ごしらえの種類		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部（不透明塗料）	※ R種 ・	※ A種 ・	
木部（透明塗料）	・	※ B種 ・	
鉄鋼面（DP以外）	※ R種 ・	※ C種 ・	
鉄鋼面（DP）	※ R種 ・	※ B種 ・	
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等以外）	※ R種 ・	・ A種 ・ B種	
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※ R種 ・	・ A種 ・ B種	
モルタル面	※ R種 ・	・ A種 ・ B種	・ 行う
せっこう石膏面	・	※ B種 ・	・ 行わない
コンクリート面（DP以外）	※ R種 ・	・ A種 ・ B種	・ 行う
ALCパネル面	・	※ B種 ・	・ 行わない
コンクリート面（DP）	・	・ A種 ・ B種	・ 行う
押出成形セメント板面		・ B種	・ 行わない
せっこうボード面（継ぎ目処理工法）	※ R種 ・	※ A種 ・	
せっこうボード面（継ぎ目処理工法以外）		※ B種 ・	
その他ボード面	※ R種 ・	・ A種 ・ B種	

錆止め塗料塗りの種別 [7. 4. 2～3]

鉄鋼面	SOP	SOP	塗装面	塗料	工程	
			新規見え掛け	A種	※ A種 ・	
			新規見え隠れ	A種	※ B種 ・	
			塗替え	A種	※ C種 ・	
			新規	1回目：C種 2, 3回目：D種	※ A種	
			塗替え（下地調整RA種）	1回目：C種 2, 3回目：D種	・	
			塗替え（下地調整RB, RC種）	E種	・	
			新規見え掛け	※ B種 ・	※ A種 ・	
			新規見え隠れ	※ B種 ・	※ B種 ・	
			塗替え	※ B種 ・	※ C種 ・	
			新規（鋼製建具等）	※ A種 ・ B種	※ A種 ・	
			新規（鋼製建具等以外）	※ B種	※ B種 ・	
			塗替え	※ A種 ・ B種	C種	
			DP	B種	改修標準仕様書表7. 4. 6による	
			EP-G	新規（鋼製建具等）	C種	※ A種
			新規（鋼製建具等以外）	C種	※ B種	
			塗替え	C種	C種	

4

塗装

5

フッ素樹脂塗装

6

焼付塗装

8

耐震改修工事

塗装の種類

塗装面

工程

塗替え

新規

・ 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）

木部屋外

※ B種
・

※ A種
・

木部屋内

※ B種
・

※ B種
・

鉄鋼面

※ B種
・

※ B種
・

亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）

※ A種
・

※ B種
・

亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）

・ B種

※ B種
・

・ クリア（CL）

※ B種
・ A種

※ B種
・ A種

・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り（NAD）

※ B種
・ A種

※ B種
・ A種

・ 耐候性塗料塗り（DP）

鉄鋼面

上塗り等級（ ）級

亜鉛めっき鋼面

上塗り等級（ ）級

コンクリート面及び押出成形セメント板面

・

・ A-1種
・ B-1種
・ C-1種

・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP-G）

コンクリート面等

※ B種
・

※ B種
・ A種

屋内の木部

※ B種
・

※ A種
・

屋内の鉄鋼面

※ B種
・

※ B種
・ A種

屋内の亜鉛めっき鋼面

※ A種
・

A種

・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）

※ B種
・

・ A種
・ B種

・ クレタ樹脂ニス塗り（UC）

※ B種
・ A種

※ B種
・ A種

・ オイルステイン塗り（OS）

・ 木材保護塗料塗り（WP）

※ B種
・ A種

※ B種
・ A種

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、せっこう石膏面、その他ボード面）の塗替えの場合のしき止め
※ 改修標準仕様書表7. 9. 1の工程1の下塗りをしき止めシーラとする
・

合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め
※ 改修標準仕様書表7. 10. 1の工程1の下塗りをしき止めシーラとする
・

打放しコンクリート面保護工法（下塗材） 水性 浸透性吸水防止材（上塗材）
・ 水性フッ素樹脂グリー
・ 水性フッ素樹脂クリアー

素材	焼付種別	仕上げ	コート	ベーク	部位
・ アルミニウム	・ フッ素樹脂	・ ソリッド			
	・ クレタ樹脂	・ マトリック			
	・ アクリル樹脂				
・ ステンレス	・ フッ素樹脂	・ ソリッド			
	・ クレタ樹脂	・ マトリック			
	・ アクリル樹脂				
・ 亜鉛めっき鋼板	・ フッ素樹脂	・ ソリッド			
	・ クレタ樹脂	・ マトリック			
	・ アクリル樹脂				

特記仕様書（耐震関係による）

9

環境配慮改修工事

1

石綿含有建材の除去等

一般事項

石綿作業主任者
石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから選任する。

特別管理産業廃棄物管理責任者
石綿含有吹付け材及び保温材について排出事業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選定し管理させる

石綿粉じん濃度の測定方法は改修標準仕様書9. 1. 11による
専門測定機関は、改修標準仕様書 9. 1. 11による
報告書の作成は、改修標準仕様書 9. 1. 11による

官公署その他への手続き
改修標準仕様書1. 1. 31によるほか、次の必要な手続きを行う。
(1) 建築物解体等作業届（所管労働基準監督署）
(2) 特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書（都道府県知事又は市長）

洗浄設備
(1) 洗眼、うがいの設備を設ける。
(2) 更衣設備等を設ける

表示・掲示
改修標準仕様書9. 1. 2(6)による表示・掲示を行う。

作業場の養生
・ 処理場所をプラシット等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
・ 全面養生（床及び壁） 対象室（ ）
・ 部分養生（床及び壁の対象部位＋1m） 対象室（上記全面養生室以外）
・ 処理場所付近をビニルシート等の適切な方法にて養生を行う

アスベスト含有保温材等の除去については、改修標準仕様書9. 1. 31による。

・ 石綿粉じん濃度測定 [9. 1. 1]
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定4		作業リフトの入口	計 点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹き出し風速1m/s以下の位置
・	測定6		処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界	計 点
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界	計 点
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	計 点
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象外部の付近	計 点

・ JIS K 3850-1 に基づいた測定 [9. 1. 1]

測定名称	測定方法	試料の吸引	試料の吸引	
		直径 (mm)	流量 (L/min)	時間 (min)
・ 測定4		25	5	30
・ 測定5				
・				
・ 測定		47	10	120
・				
・ 測定		47	10	240
・				
・ 測定				
・				

・ 自動測定器による測定
測定名称 測定方法
・ 測定4 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムモニター）等の粉じんを迅速測定できる機器を用いた測定
・ 測定5

2

石綿含有建材の処理

石綿含有建材の処理 [9. 1. 3(6)]
・ 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ [9. 1. 3] (2) (7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※ 湿潤化
※ 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去方法
・ 切断又は破砕して除去
・ 手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※ 湿潤化
※ 固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

処理を行う石綿含有保温材等の仕様等

材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲
・ 石綿含有保温材	・	※ 図示
・ 石綿含有耐火被覆板	・	※ 図示
・ 石綿含有断熱材	・	※ 図示

・ 石綿含有成形板等の除去
除去対象範囲 ※ 図示
隔離養生（負圧不要）方法
・ 図示
除去した石綿含有成形板等の処分
・ 石綿含有せっこうボード
※ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有仕上塗料の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去方法
・
除去した石綿含有仕上塗料の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
汚泥として処理
・ 適用する ※ 適用しない

石綿含有建材除去後の仕上げ工事
・ 図示

1 級建築士 内田 要
大臣登録 第 189294号
株式会社 浜江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名
図面名

新馬診療所排水改修工事
特記仕様書その9

縮尺
設計
計

年 月 日

佐賀県競馬組合
1 級建築士登録 第 号

図面番号
A-10

9

3

外断熱改修工事

6

断熱材の種類
断熱材の厚さ (mm)

外装材

既存外壁の処置

工法

断熱・防露改修工事

4

断熱・防露改修工事

6

断熱材の種類
断熱材の厚さ (mm)

外装材

既存外壁の処置

工法

断熱材打込み工法

断熱材現場発泡工法

断熱材後張り工法

植栽基盤及び材料

建設省告示第1458号による風圧力に対応した固定方法

かん水装置

既存保護層の撤去

支柱

新植した芝及び地被類の枯補償の期間

透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩道

既存舗装の撤去及び再利用

路床

路床の材料

路盤

路床

路盤

アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ

材料

加熱アスファルト混合物等の種類

試験

シリングの分析

施工調査等

除去処理工事

別表-1 設備工事との工事区分表

機器の基礎

開口部

点検口

外部取付が

ガス漏れ検知器

換気扇

流し台

浴槽

身障者用便所手すり

システム天井

電気錠

浄化槽

水道メーターの配線

水道メーターの配線の結線と調査

1級建築士 内田 要
大臣登録 第189294号
株式会社 洪江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名
図面名

新馬診療所排水改修工事

特記仕様書その10

縮尺
設計
計

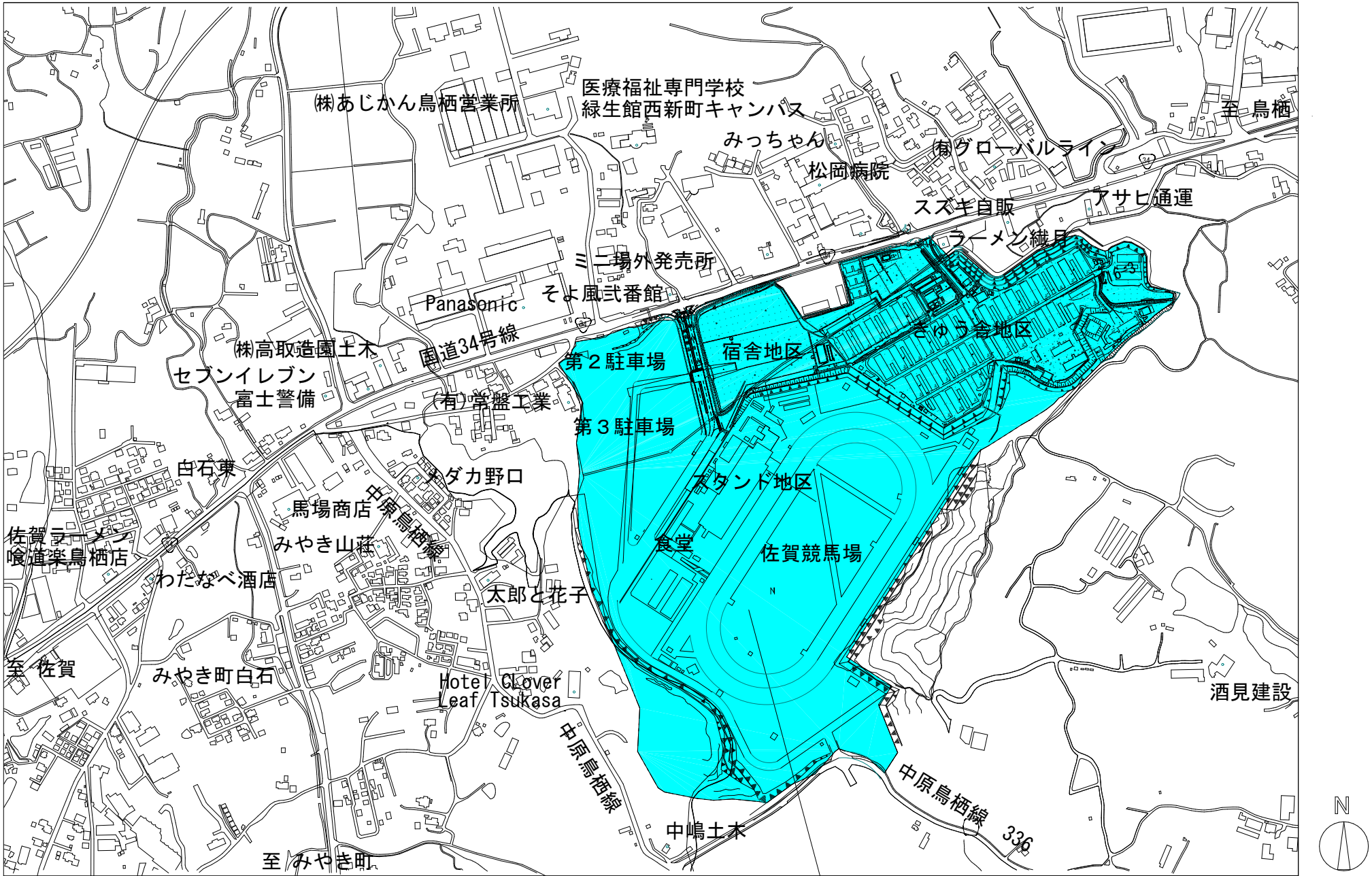
年 月 日

佐賀県競馬組合

1級建築士登録 第 号

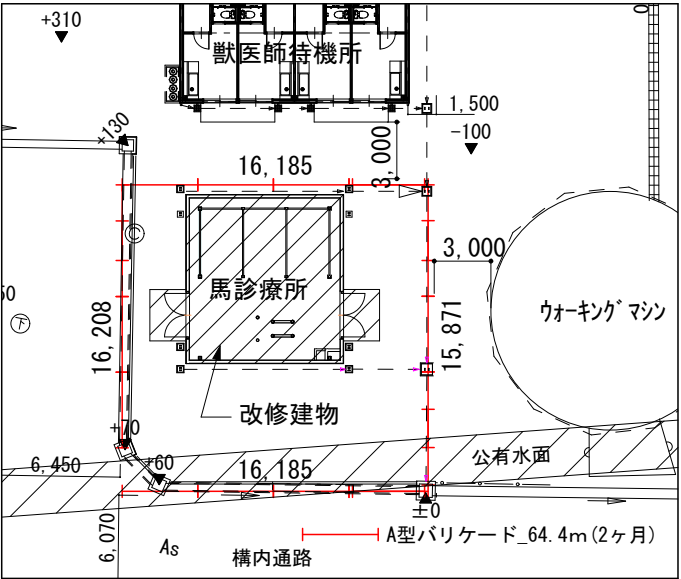
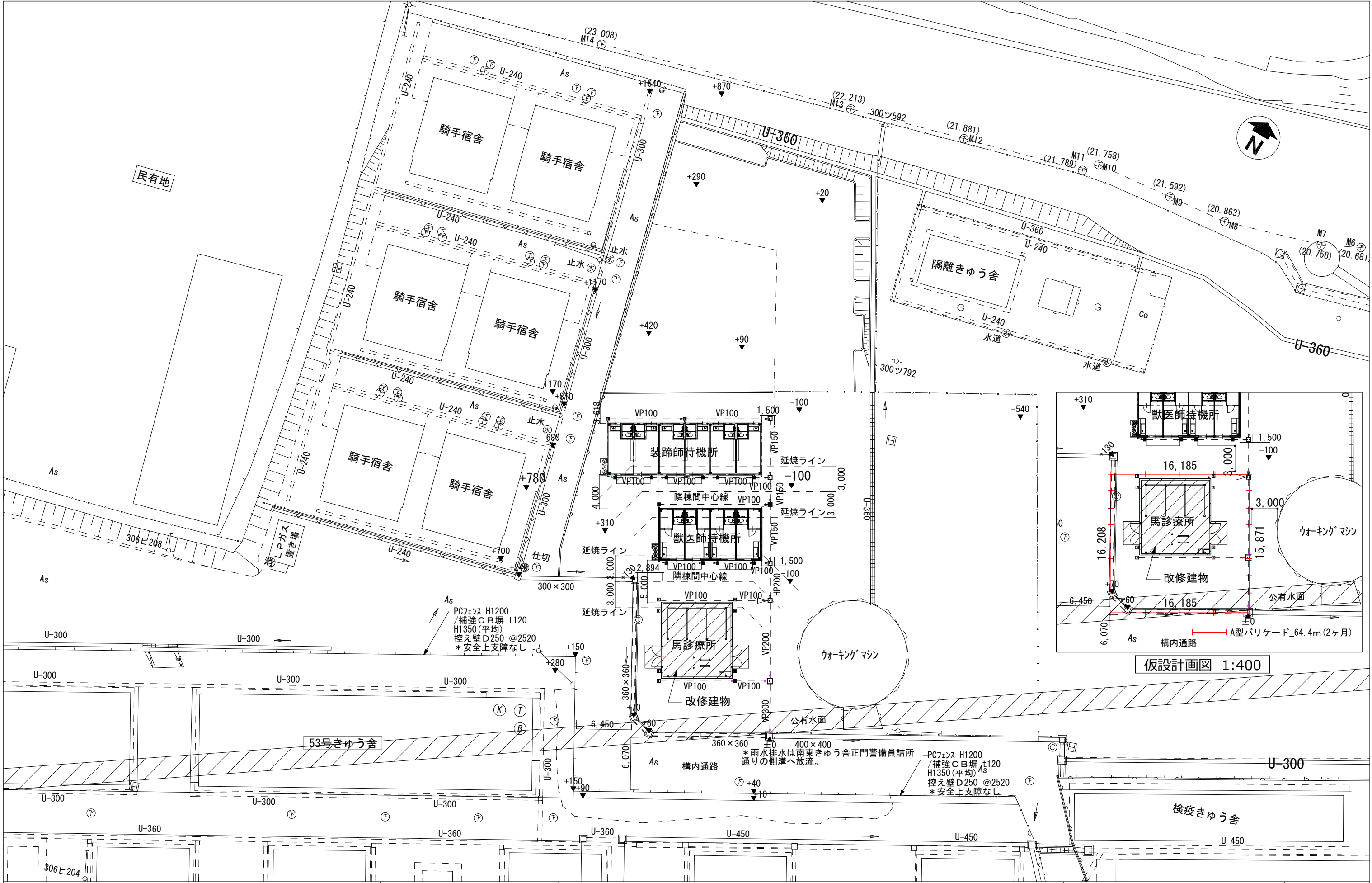
図面番号

A-11



佐賀競馬場：鳥栖市江島町字西谷3256番地228

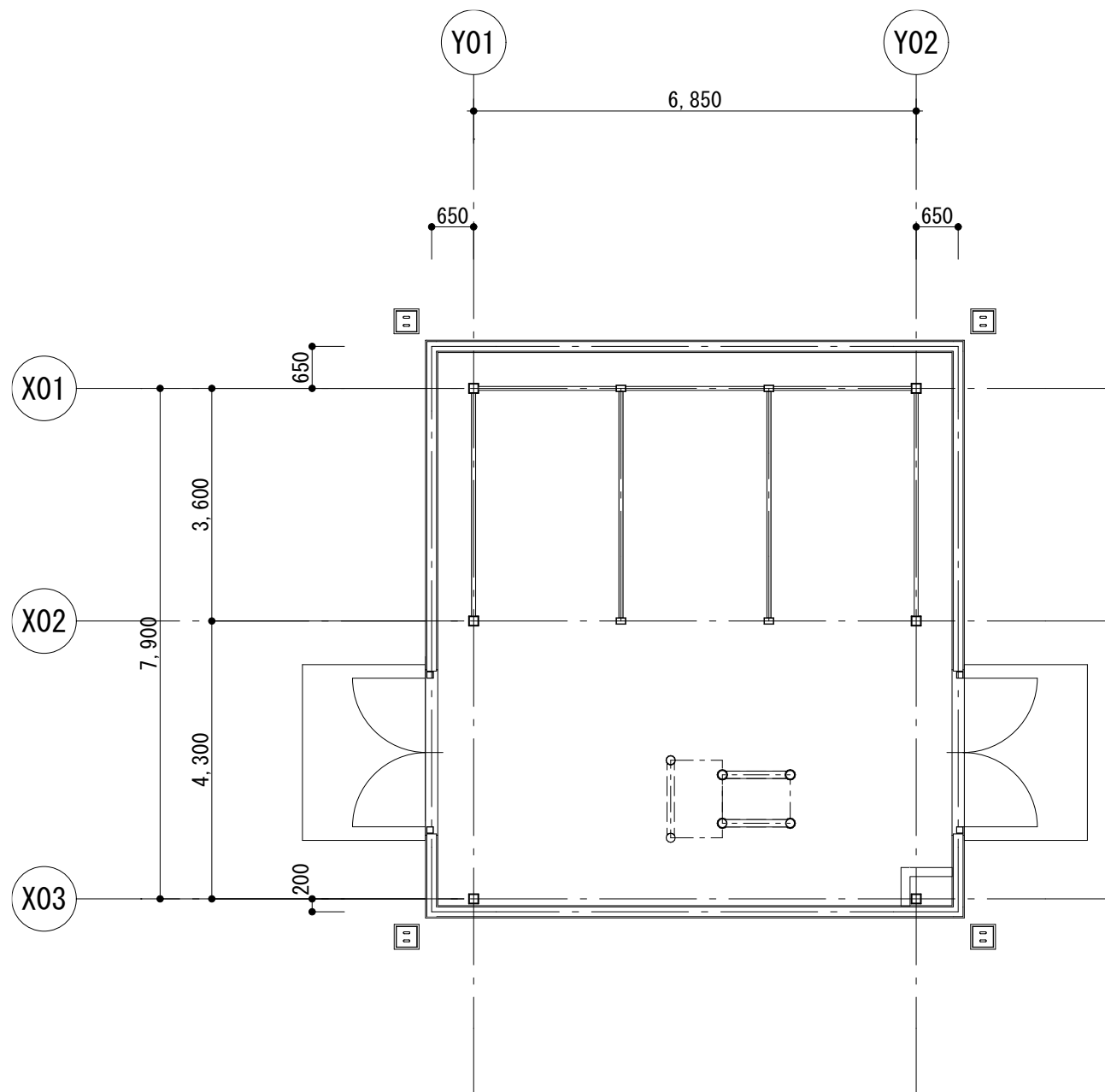
	1級建築士 内田 要 大臣登録 第189294号 株式会社 洪江建築設計事務所 佐賀市多布施四丁目3番50号 TEL 0952-24-7211	工事名 図面名	新馬診療所排水改修工事 付近見取り図	縮尺 設計 計	1:8000 年 月 日	佐賀県競馬組合 1級建築士登録 第 号	図面番号 A-12



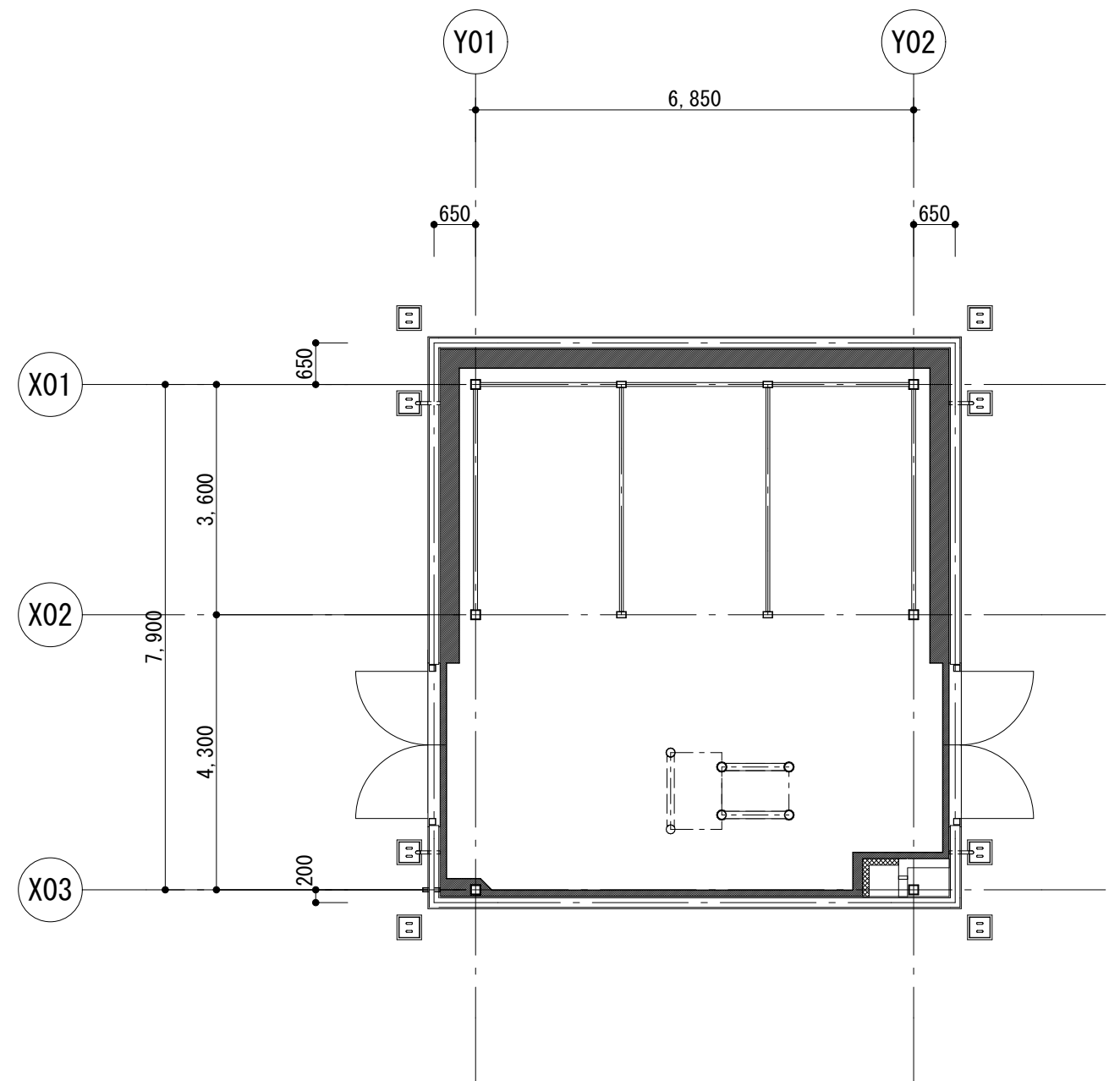
仮設計画図 1:400

	<p>1級建築士 内田 要 大臣登録 第189294号 株式会社 洪江建築設計事務所 佐賀市多布施四丁目3番50号 TEL 0952-24-7211</p>	<p>工事名 新馬診療所排水改修工事 図面名 配置図・仮設計画図</p>	<p>縮尺 1:400 設計 年 月 日 計</p>	<p>佐賀県競馬組合 1級建築士登録 第 号</p>	<p>図面番号 A-13</p>
--	--	--	------------------------------------	--------------------------------	------------------

[illegible]



改修前 平面図 1:100



改修後 平面図 1:100

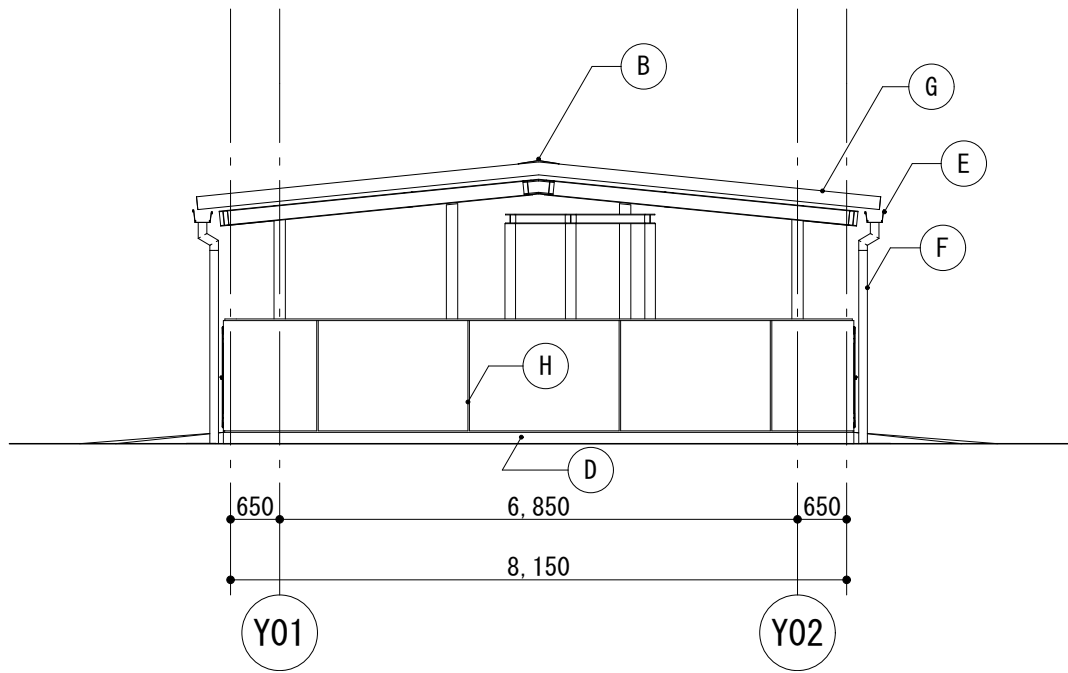
1級建築士 内田 要
大臣登録 第189294号
株式会社 洪江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名 新馬診療所排水改修工事
図面名 改修前、改修後平面図

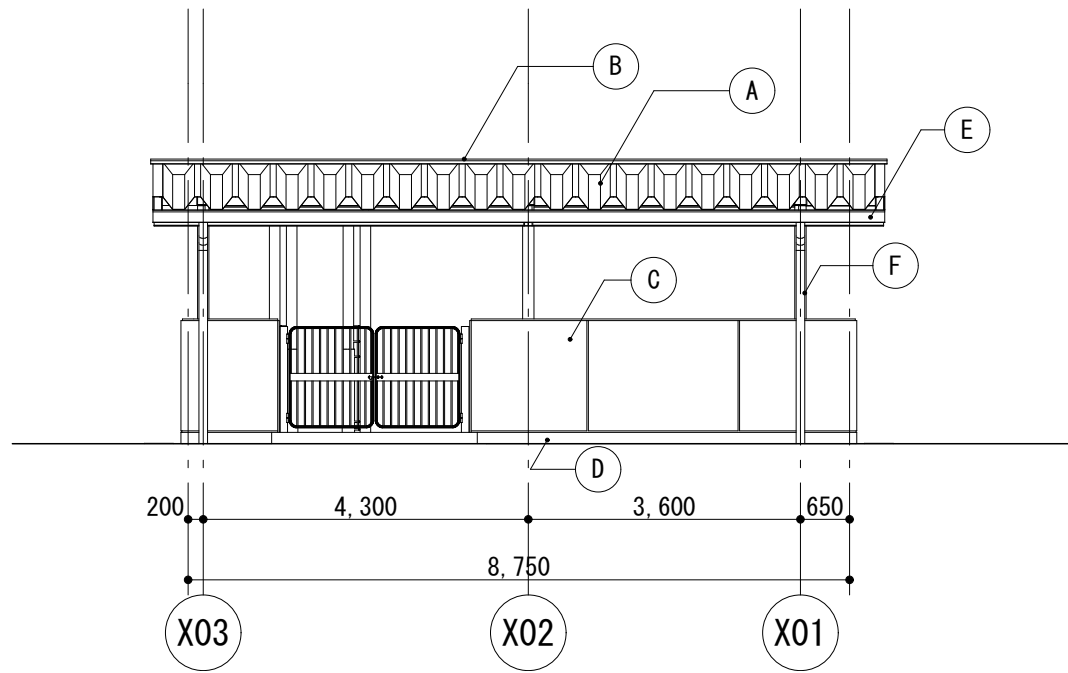
縮尺 1:100
設計 年 月 日

佐賀県競馬組合
1級建築士登録 第 号

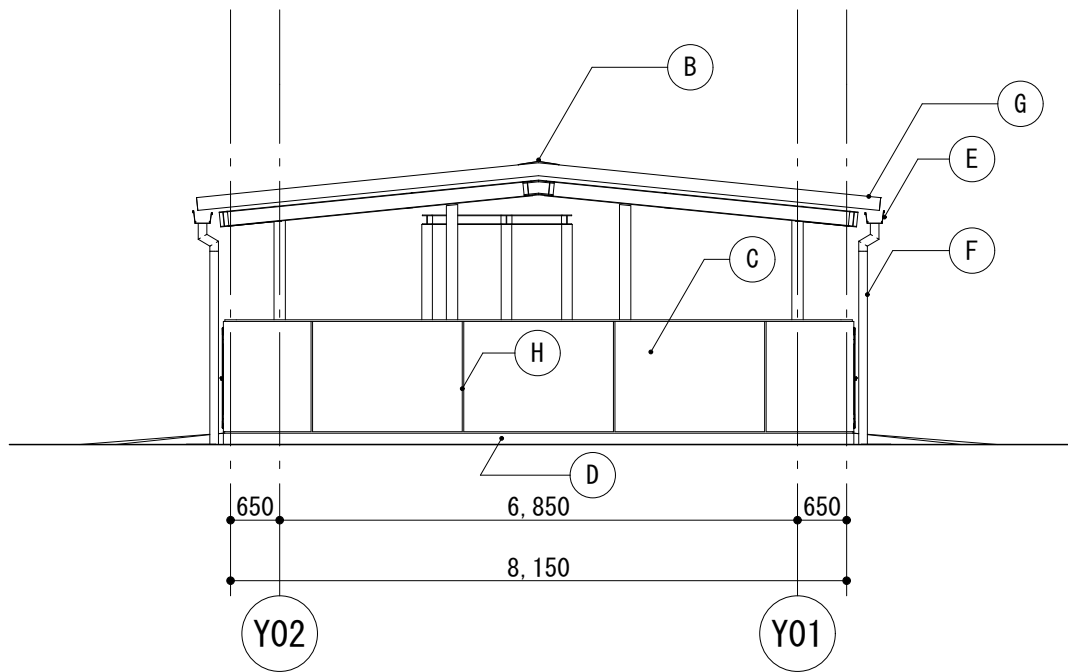
図面番号 A-15



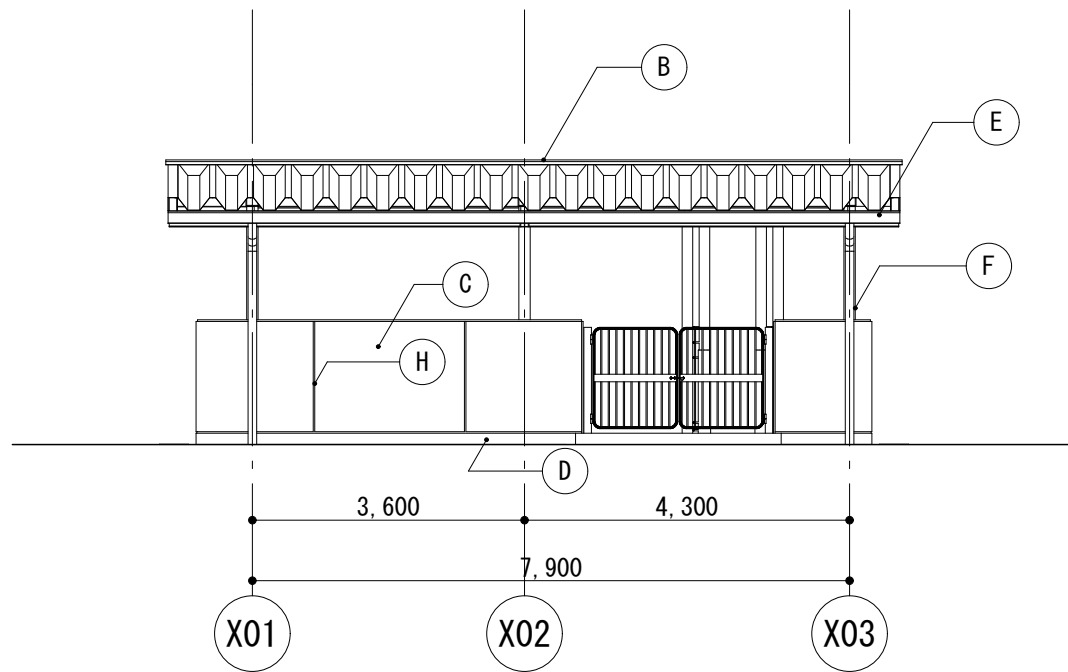
南立面図



東立面図



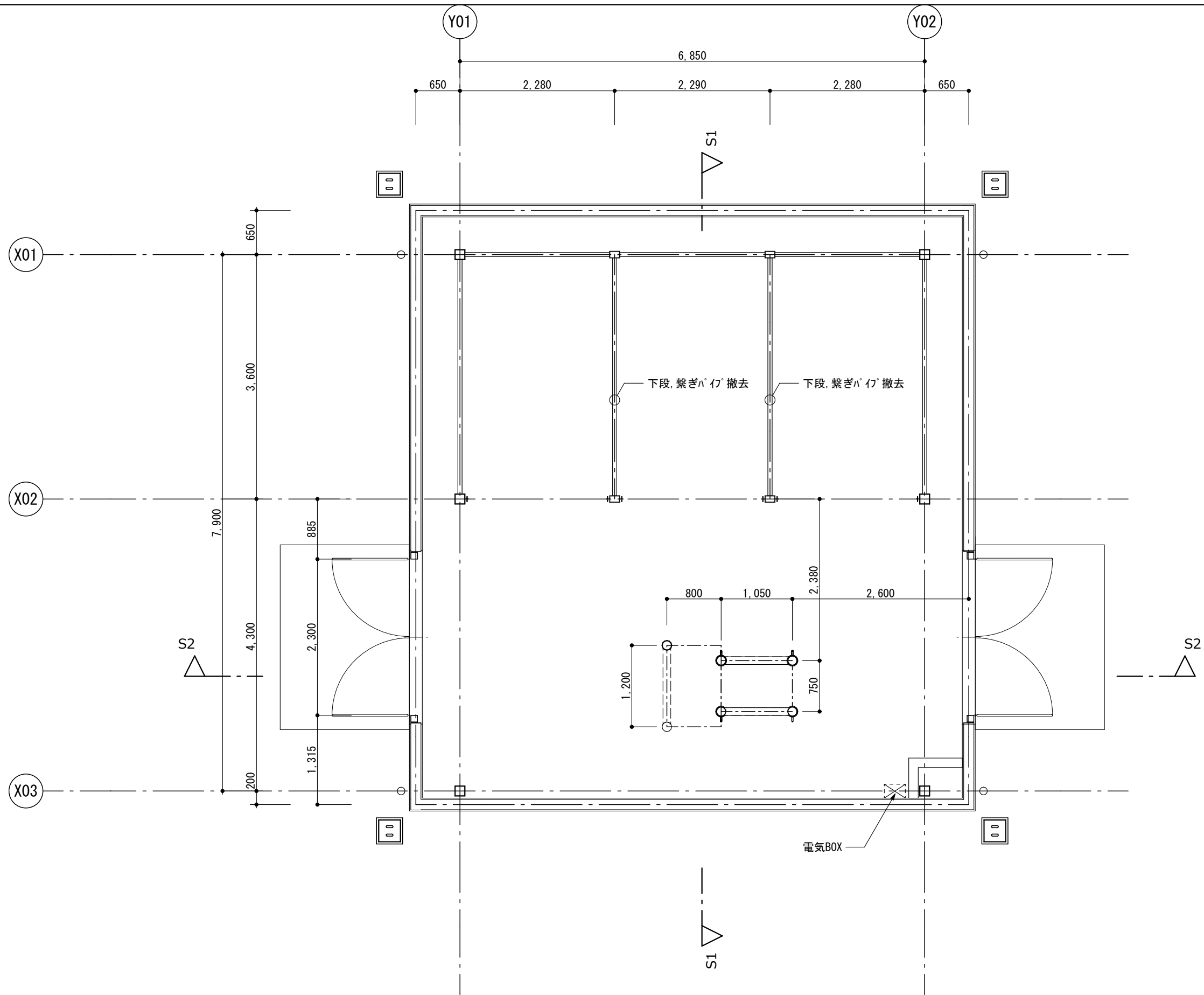
北立面図



西立面図

A	屋根:折板_カラーガルバリウム鋼板t=0.8(丸ハゼタイプ) 山高166
G	屋根クラバ:カラーガルバリウム鋼板t=0.6
B	屋根棟押E:カラーガルバリウム鋼板t=0.6 W=250
E	軒樋:カラー塩ビ 既製品 前高165(角型)
C	腰壁:コンクリート打放し+補修+複層塗材E
D	根廻り:コンクリート打放し+補修
H	伸縮目地:20×20
F	縦樋:カラー塩ビ 管Φ75

	1級建築士 内田 要 大臣登録 第189294号 株式会社 洪江建築設計事務所 佐賀市多布施四丁目3番50号 TEL 0952-24-7211	工事名 新馬診療所排水改修工事 図面名 立面図	縮尺 1:100 設計 年 月 日 計	佐賀県競馬組合 1級建築士登録 第 号	図面番号 A-16



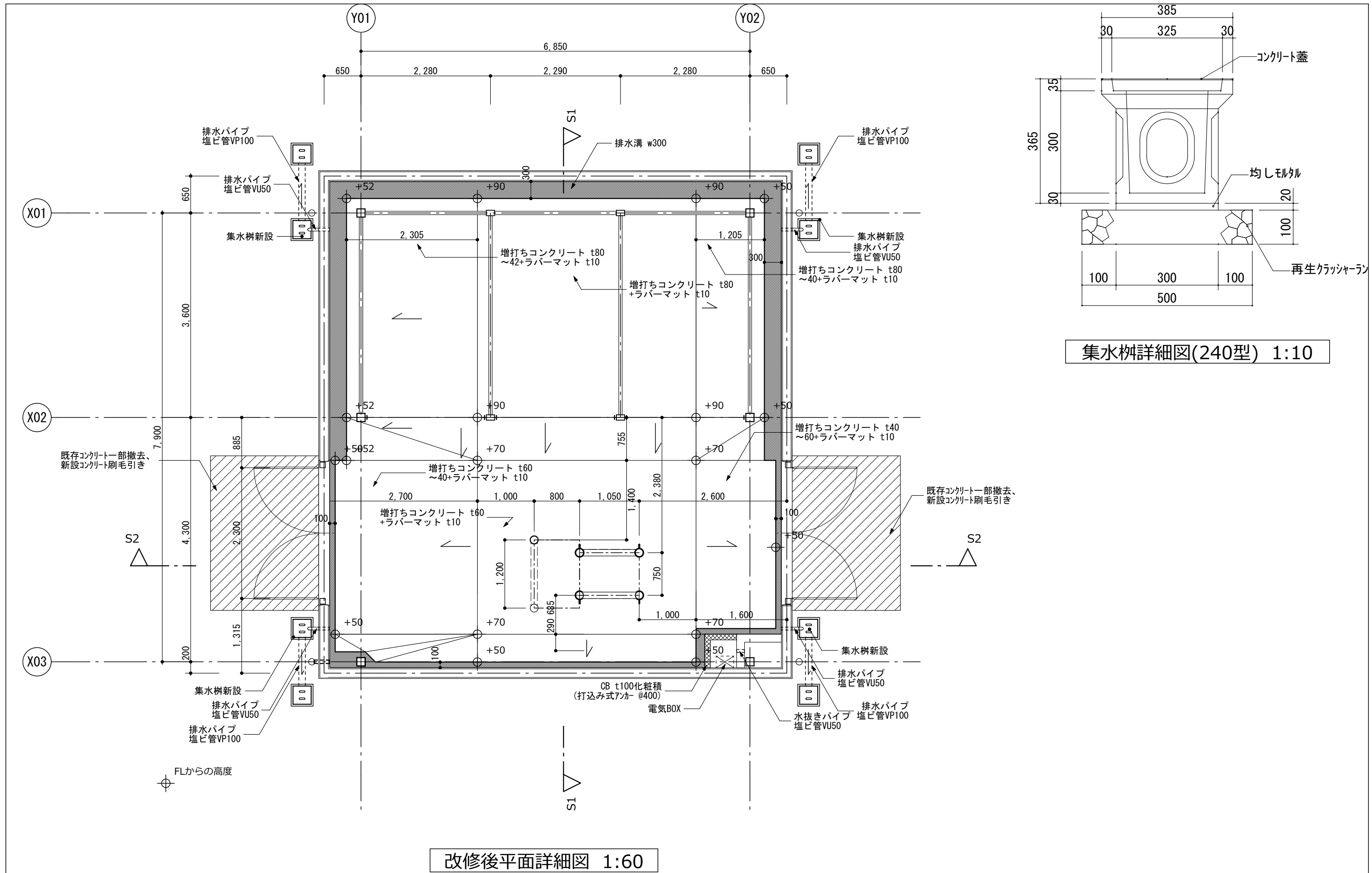
1級建築士 内田 要
大臣登録 第189294号
株式会社 浜江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名 新馬診療所排水改修工事
図面名 改修前平面詳細図

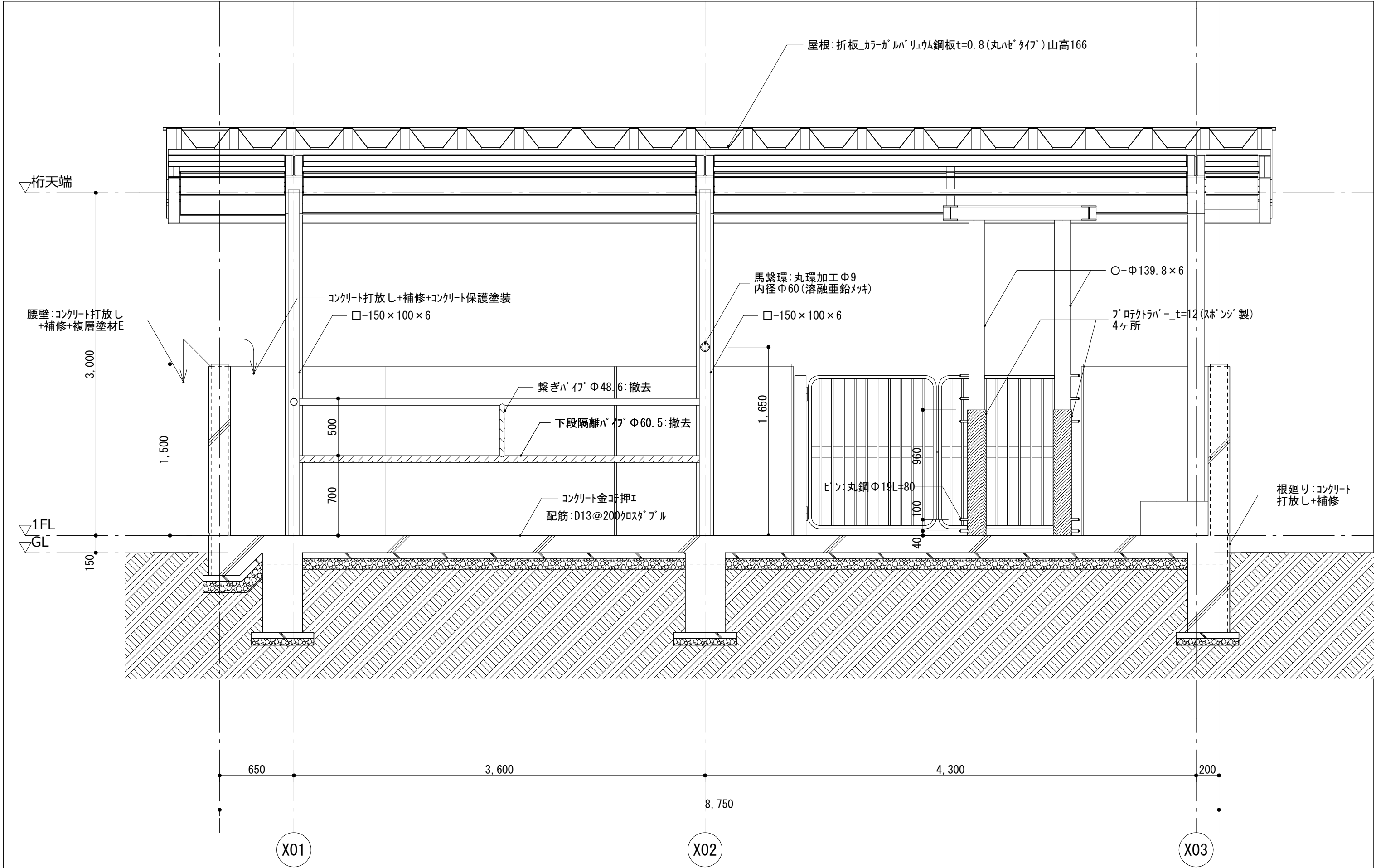
縮尺 1:60
設計 年 月 日
計

佐賀県競馬組合
1級建築士登録 第 号

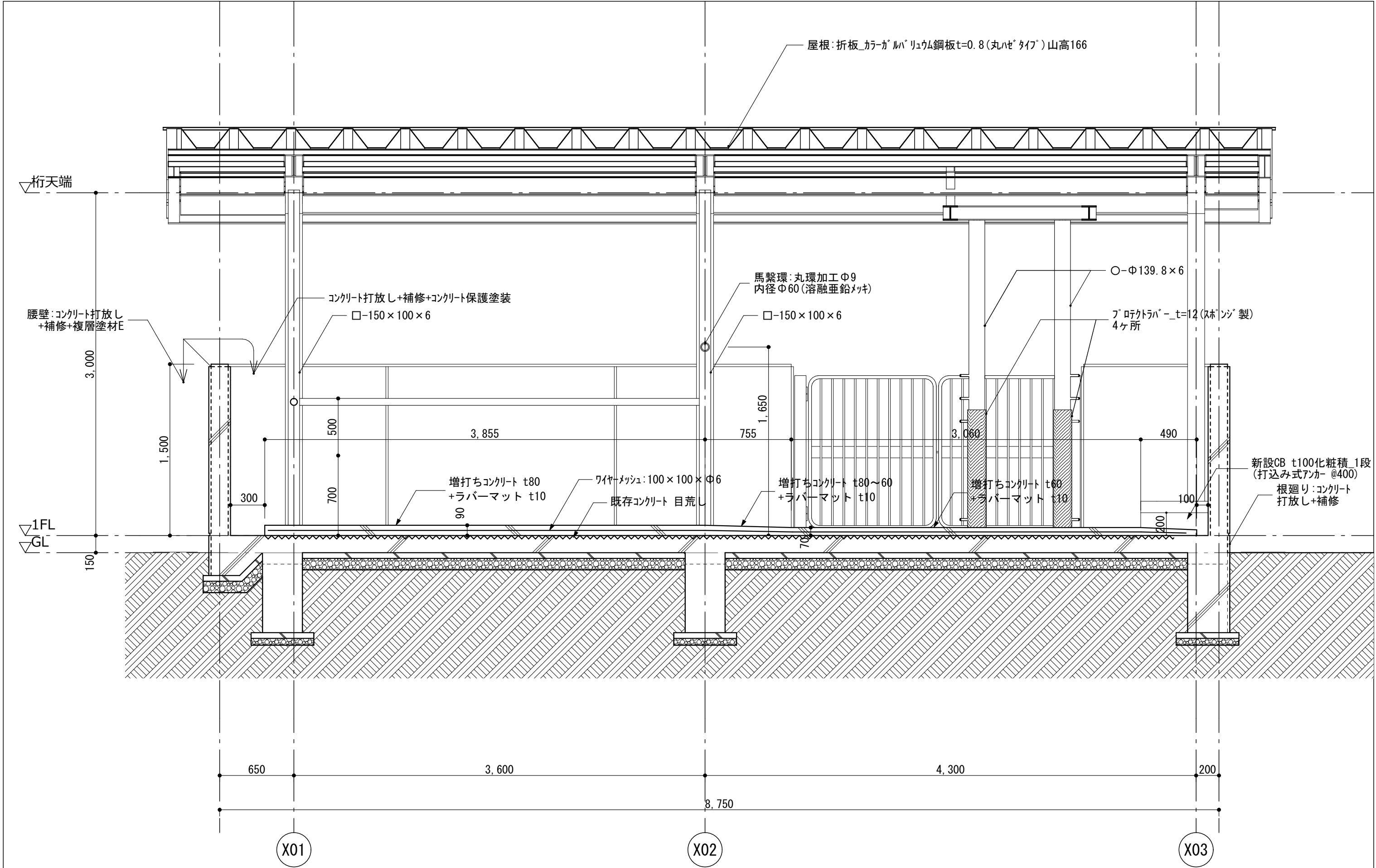
図面番号 A-17



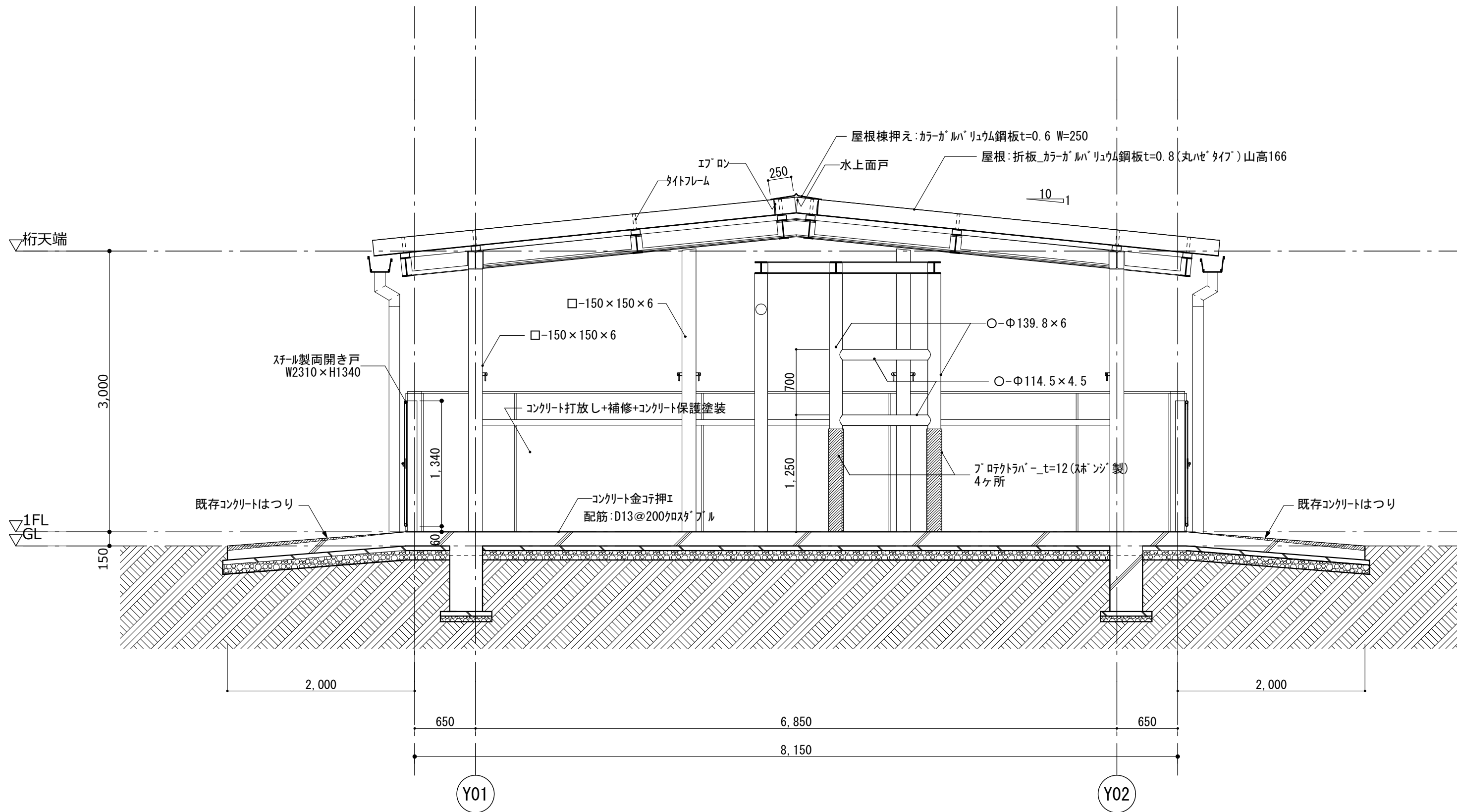
	1級建築士 内田 要 大臣登録 第189294号 株式会社 洪江建築設計事務所 佐賀市多布施四丁目3番50号 TEL 0952-24-7211	工事名 新馬診療所排水改修工事	縮尺 1:60, 1:10 設計 年 月 日 計	佐賀県競馬組合 1級建築士登録 第 号	図面番号 A-18
	改修後平面詳細図・集水樹詳細図				



	1級建築士 内田 要 大臣登録 第189294号 株式会社 浜江建築設計事務所 佐賀市多布施四丁目3番50号 TEL 0952-24-7211	工事名 新馬診療所排水改修工事	縮尺 1:30 設計 年 月 日 計	佐賀県競馬組合 1級建築士登録 第 号	図面番号 A-19
	改修前S1断面詳細図				



	1級建築士 内田 要 大臣登録 第189294号 株式会社 洪江建築設計事務所 佐賀市多布施四丁目3番50号 TEL 0952-24-7211	工事名 新馬診療所排水改修工事 図面名 改修後S1断面詳細図	縮尺 1:30 設計 年 月 日 計	佐賀県競馬組合 1級建築士登録 第 号	図面番号 A-20



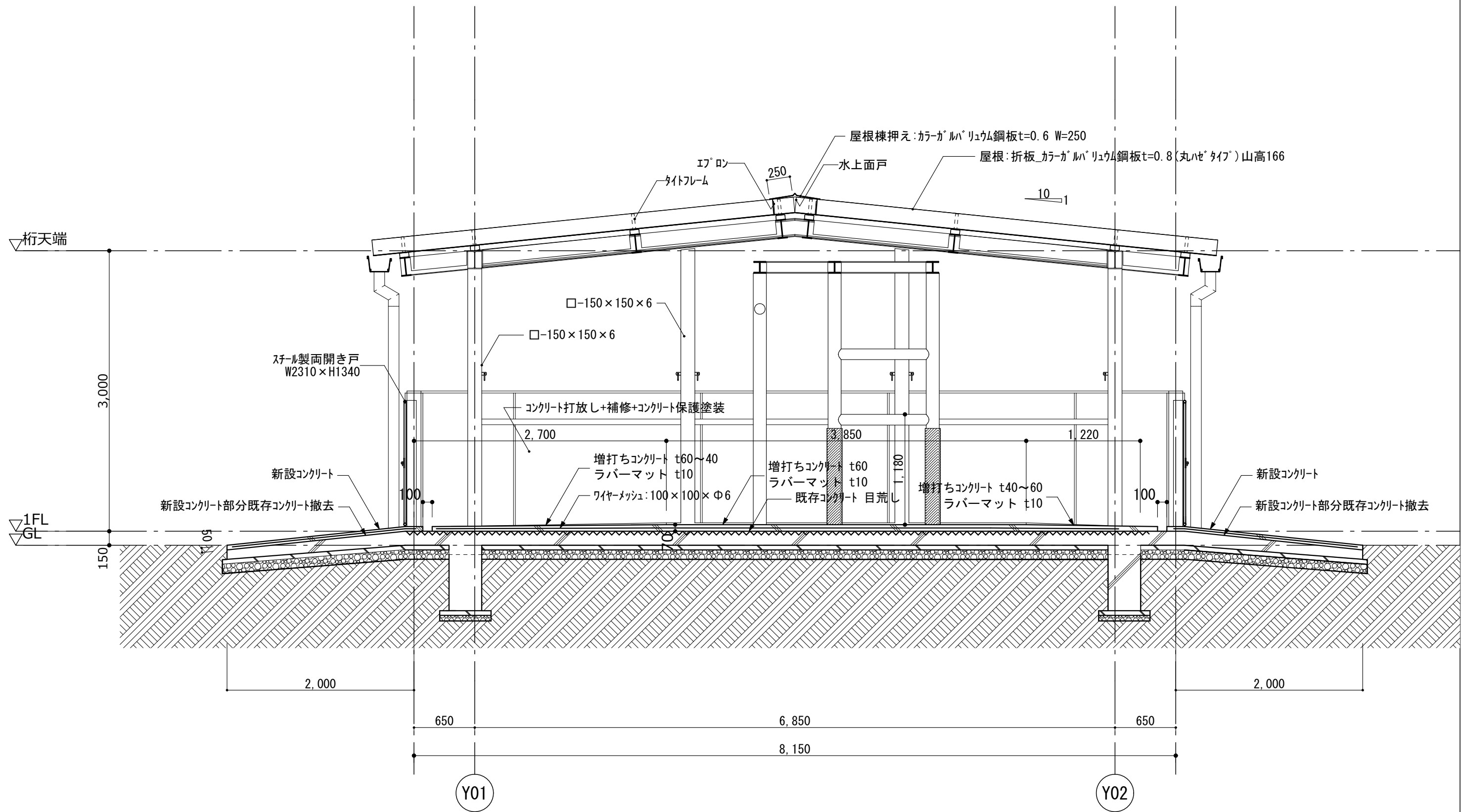
1級建築士 内田 要
大臣登録 第189294号
株式会社 洪江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名 新馬診療所排水改修工事
図面名 改修前S2断面詳細図

縮尺 1:40
設計 年 月 日
計

佐賀県競馬組合
1級建築士登録 第 号

図面番号 A-21



1級建築士 内田 要
大臣登録 第189294号
株式会社 洪江建築設計事務所
佐賀市多布施四丁目3番50号
TEL 0952-24-7211

工事名 新馬診療所排水改修工事
図面名 改修後S2断面詳細図

縮尺 1:40
設計
計

年 月 日

佐賀県競馬組合
1級建築士登録 第 号

図面番号 A-22